BONITA COMICS



やじきた学園道中記

21

市東亮子

BONITA COMICS



ボニータコミックス

やじきた学園道中記

21

市東亮子


BONITA COMICS
〈ボニータ掲載〉
やじきた学園道中記
邪剣編
第21巻
むとう りょうこ
武東亮子

目次

邪剣編……5
タイクツ社長の極めてうかつな墓穴……105
騎士編……129
OAVからこんにちは……204
一頁劇場「マッチ売りの少女」……207



あらすじ　「邪剣編」**前巻まで**

名古屋にやってきたやじきたコンビ。依頼を受けた仕事の割りにあまりにいい待遇に疑問を持った二人の前に現れたのはキタさんと因縁を持つ萩間剛。かつて大門、キタさんらと剣を競っていたころの姿はそこにはなく、邪剣〝対心新影流〟の次期総帥の座に就く剛。そんな剛を見て、自らの責任を感じたキタさんは剛の破門を解いてもらうために、出雲へ向かったが……。


大門……！
来いっ お北
こっちだっ
ちがう……！ 大門
だめだ……
ばっ
お北……？


何っ!?

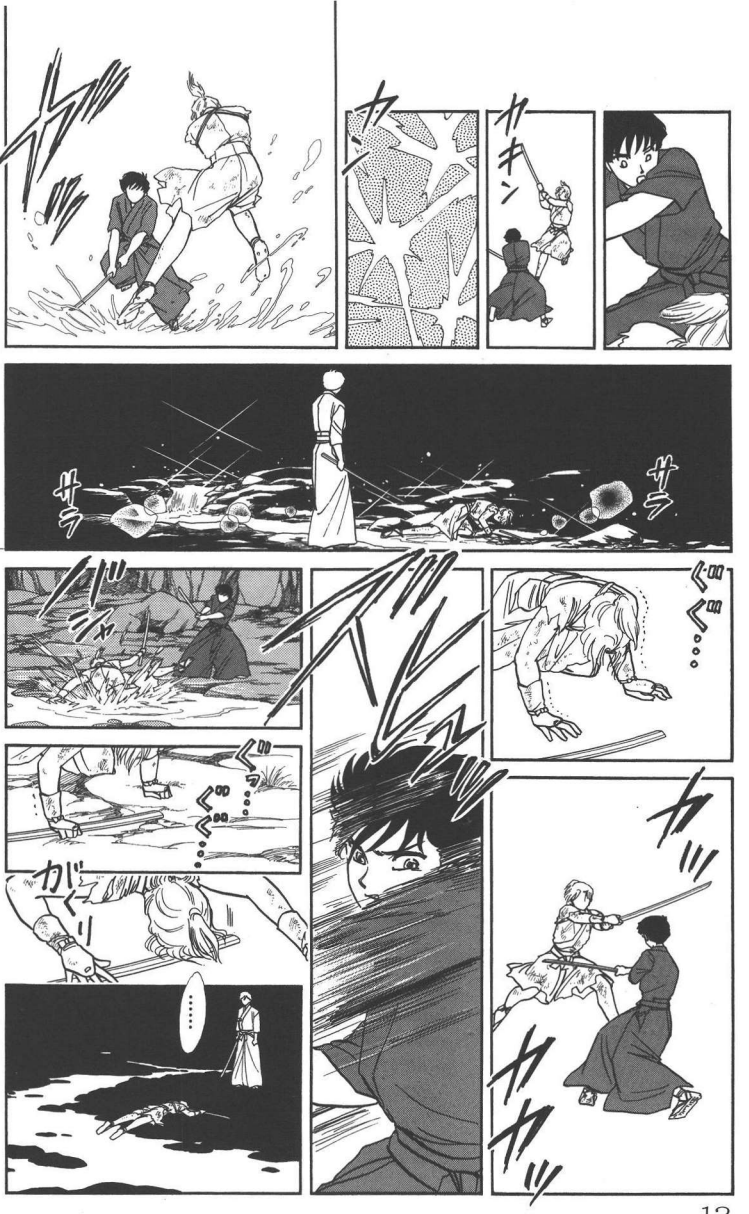

……お北……！
大門……お前さんの気持ちはありがたい……
だけど……
ここで手助けしてもらうちまっちゃあ
あたしの誠が通らないんだ……!!
お北……
お北
お前……
そうか……


大門……！
……わさと打たれた……!?
大門……
来るなっ
くっ……
……
行け！


試されてる
お前を手助け
しようなんざ
俺が野暮だったぜ
行け！
そんな表情
すんな
似合わ
ねえ……
……大門……
……
……すまない
先生…
先生の読みどおり
大門さんが手助を……
ほほう
ちこちこ
は一出番じゃな
小弥太
その大門さんの
手助をふっきっちょて
進んどうだー
ですだが
あのによば
……はい……
月の沢で
待ち伏せだらぞ
小弥太……
……ああ
みんな
頼んことが
あーが


わしひとーで
いかせてくれや
チャプ…
サラ
サラ
わしの名ーは
春日部小弥太
篠北さん……
あんたのねらいは
大門さんから
聞いとうですだ
サラ
萩間はんのために
天玄斎先生に会おうちょ
しておられようことだは
感謝しとうですだ
そげなあんたに
じゃじゃしーような
妨害はできんがね…
おんぞ！
ほんきの
勝負を
ガッ
ガッ
ガッ
ガッ
ガッ
キッ
ガッ
ンッ
こっ……
この少年……！


似ている……!?
剛の太刀さばきに……
ドラ
ゼイ…
ハア…
す？…
お立ちなさい

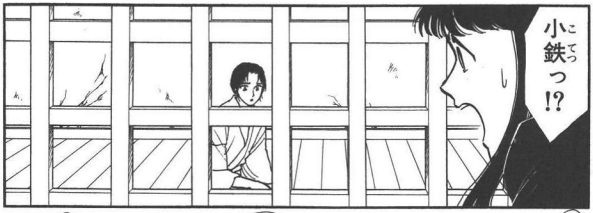

カキン
サラ
サラ
ぐぐぐ…
ぐぐぐ…
ぐぐぐ…
がくり
……


篠北さん
あんたの気ーは
わしの胸に
うけとめちょうだ
だども……
時は過ぎて
しまっちょうだ
萩間はんが
破門されて
えらい年月が
たっちょうだ


その間に
あんひとの
場所は
なくなって
しまっただが
もう
いのう
ところは
ないだがね


あん人だけーに
しとっても
そんは
望ましいじゃ
ねえではないだが


ゴトリ
矢島さま
ごらんなさい


小鉄っ!?


……
……矢島さん……


……やはり
思ったとおり
お仲間
なんですね
咲耶さんっ……これは……


さあ もういいわ
それを確かめ
たかっただけ……
別に一緒の牢に
入れるわけではないの
小鉄っ……


矢島さまはこちら


咲耶さんっ　ねえっ
ねえおしえとくれよ
一体…っ　一体
どうして
桂丸くんは
ここに…っ


あなたがそれを
お知りになる
必要は
ありませんわ
咲耶さんっ
そうそう
美しい間者を
送り込んで下さって
ありがとう


きっとご神刀も
お喜びになるわ
バタン
小鉄……!?
……さ……
咲耶……

はい……
お父さま

萩間は……どうした
今日は顔を見せぬが…

次期さまは今
ご神刀をお試しに
なっておられますわ

萩間は…スジも
頭もいい男だ……

あやつならばきっと
開祖神和隅源幽の意志を
再現できるにちがいない

よいか咲耶　お前も何かと
あやつの力になってやってくれ
決してあやつが負の気に
流されはしないように……

対心新影流の真の意義を
気づかせてやってくれ
……そしてもう血ぬられた
暗黒の歴史を終わらせて
やってくれ……よいな……

…はい…
お父さま

お嬢さま……

聞いていたのですか菊地……

老いぼれのたわ言を……！

クッ

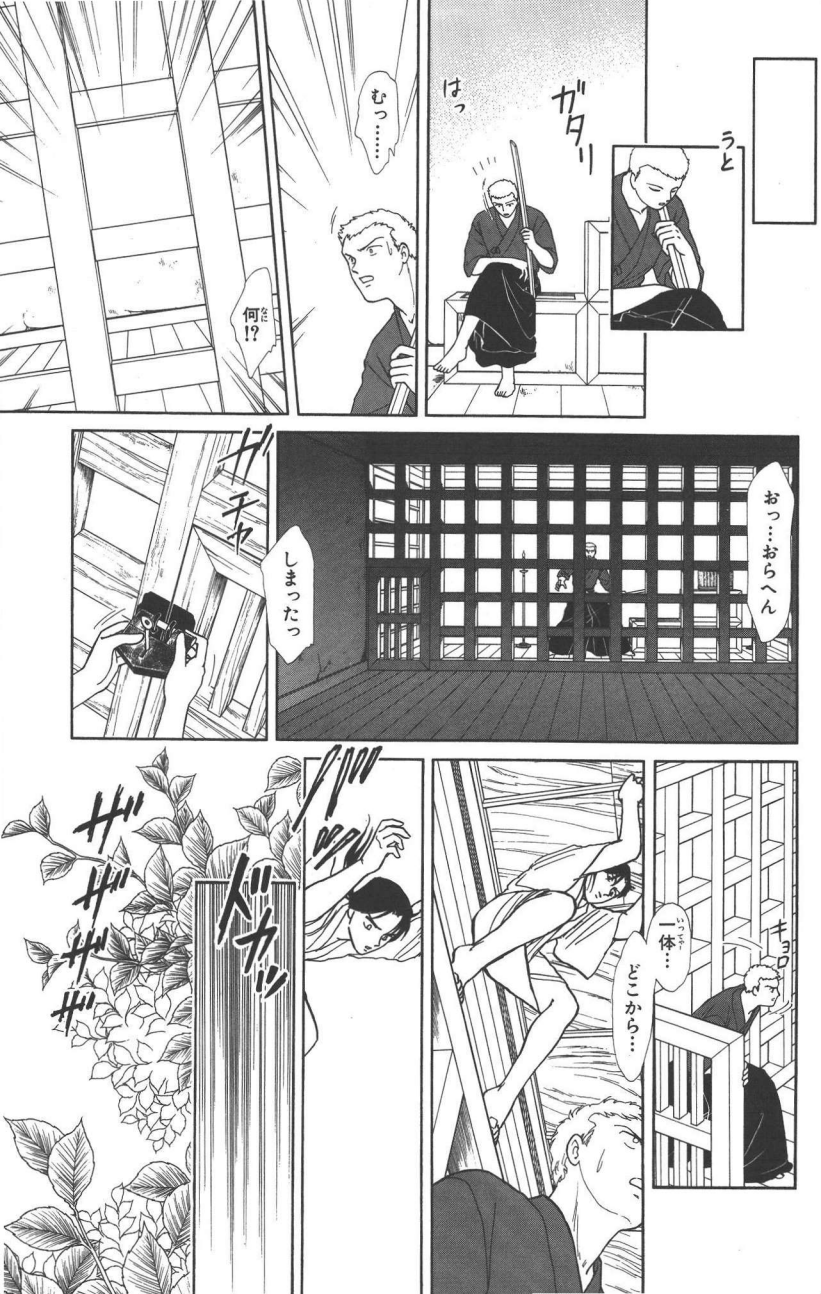
大丈夫…決して
次期さまは負の情念を
のり越えることなど
できはしないわ

あんな……！

一人の女に迷っている
男などに……っ!!

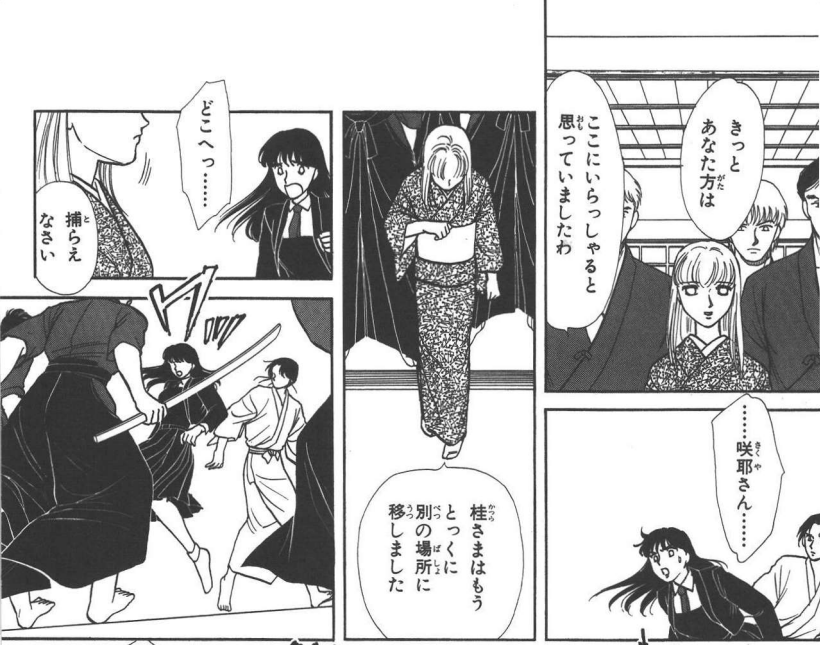

お嬢さま……
次期さまを憎んでおられるのですね……
当然よ
あなたは父が憎くないの……？
あなたは父よりもずっと実力も人望も勝っていた……
なのにご神刀に選ばれた総帥は父だった……
だけど父が総帥になった後も門下生の指導も一門の面倒も結局はあなたが仕切っていたわ
自己の能力を正しく評価してもらえないとき……
他人が認められるのを喜ぶ人はいないわ
あなたの言ってたとおり次期さまは篠北さまと再会して青龍剣への未練も憎悪も増したわ……わざわざ学校長を言いくるめてあの二人を転入させたかいがあったというもの……
苦しむがいいわ萩間剛
いずれあなたは邪剣に操られ己自身を滅ぼすのよ!!


ご免
菊地先生……
久しぶりに……お相手いたしましょう
……
お願いします……
……これは
迷いが消えている……
邪気を巡らす事に
ためらいがなくなっている……！
次期さまに何かあったのか……!?
もぞ
もぞ
何としてでもこっから逃げ出して
小鉄と桂くんを助け出さなきゃ
ギリ
ギリ


うと
ガタリ
はっ
むっ……
何!?
おっ…おらへん
しまったっ
ガチャ
キョロ
一体…
どこから…
ガガガガガ
バカン


逃げたがやっ
まだ近くにおるはずだてっ
さがしゃー
ザザザ
ゴソゴソ
ガヤガヤ
ガヤガヤ
……
……矢島さん
たしか……
桂さまの部屋はこの辺だったと……
小鉄……！
トッ
トッ

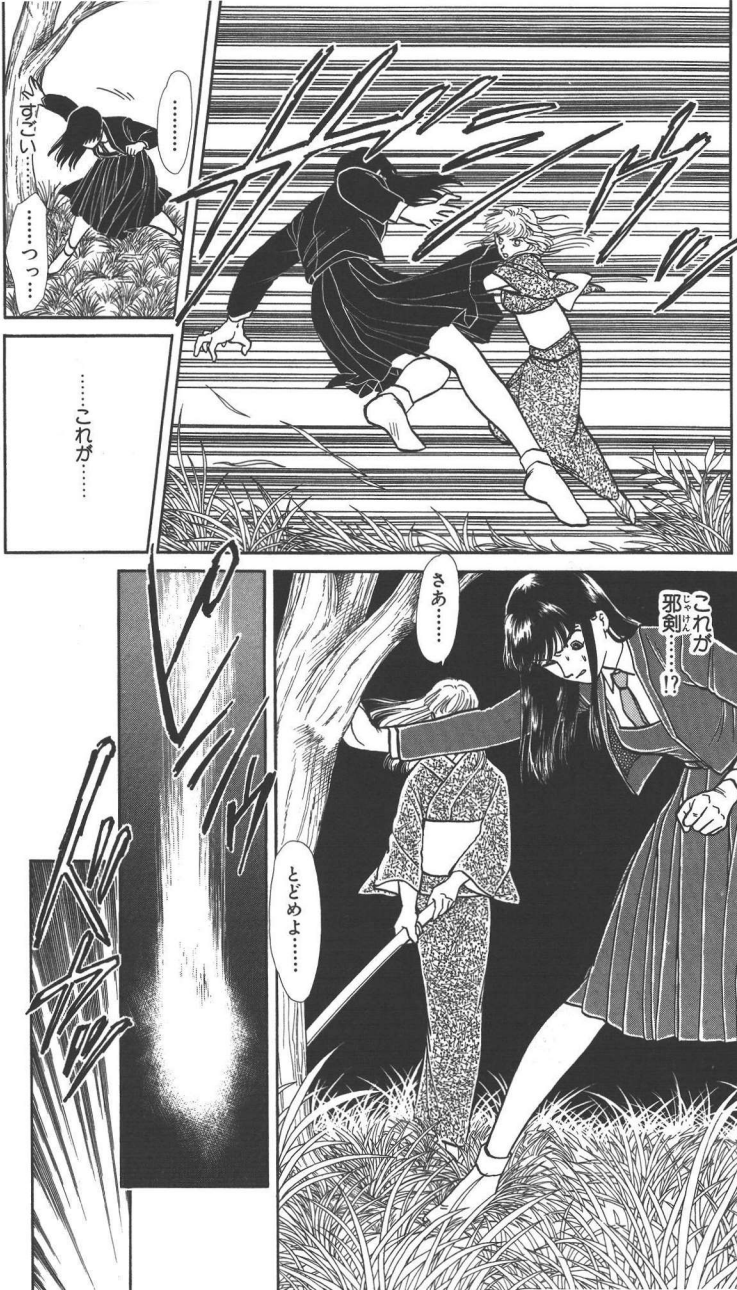

桂くんっ……
う？
あっ……
あんたはっ……


きっと
あなた方は
ここにいらっしゃると
思っていましたわ
……咲耶さん……
桂さまはもう
とっくに
別の場所に
移しました
どこへっ……
捕らえ
なさい


わっ
小鉄っ
今のは……っ
真吾さんから
もらった
南蛮いぶし弾き


二手に別れよう
桂丸くん……！
一体……桂丸くんはどこへ……
……
逃がさないわ


すう…
咲耶さん…
はぁ…
な…何だ…
この邪悪な気は…！
ビシュッ
うあっ
カッ
ウッ
なっ…
かすっただけなのに
瀕んだ痛みが…！


すごい……
……っっ……
……これが……
これが邪剣(じゃけん)……!?
さあ……
とどめよ……


こっ
小鉄っ!?
小鉄っ!!
な…何故……
何故だ…!
これほど使える
娘がいるのなら
あえて門外から
後継者を
選ばなくとも……
一体…あの
ご神刀とは
何なんだ……
……
我が対心新影流の開祖
神和陽源幽が狂気の刀匠に
うたせた陰陽一対の太刀の……
陰の太刀よ……
人の心の負の情念を
肯定し封印してある刀剣
純粋に
血を欲する心
名を欲する心
人が誰でも無意識に心に
宿しているそんな負の情念

尾張柳生の「実」が江戸柳生の「名」をしのぐ日はとうとう来なかった……

尾張柳生の中には無念のあまり天下を…世情をうらむ者が何人かあらわれ

そして……陰の太刀の封印を解いた……

陰の太刀はそれを握る者の負の情念を吸い邪気を宿すようになり

ついには血を求める妖刀になったのよ

……咲耶さん……？

何だか……

哀しい眼……

だけれどその妖刀は……見る者をくぎづけにするほど美しい……

青白い炎がゆらめいているような焼刃の紋様など哀しいほどに……

私は…あのご神刀に……一度でいい……触れてみたかった……

幼いころかいま見た
父の手のご神刀……

私は心うばわれ……

女子は道場に
入ってはならんっ

ましてやご神刀に
触れようなどとはっ

咲耶っ
何を
しているっ

ムーニィッ

ご神刀も……っ

次期総帥の
座もっ……!!

……女に生まれて
いなければ……

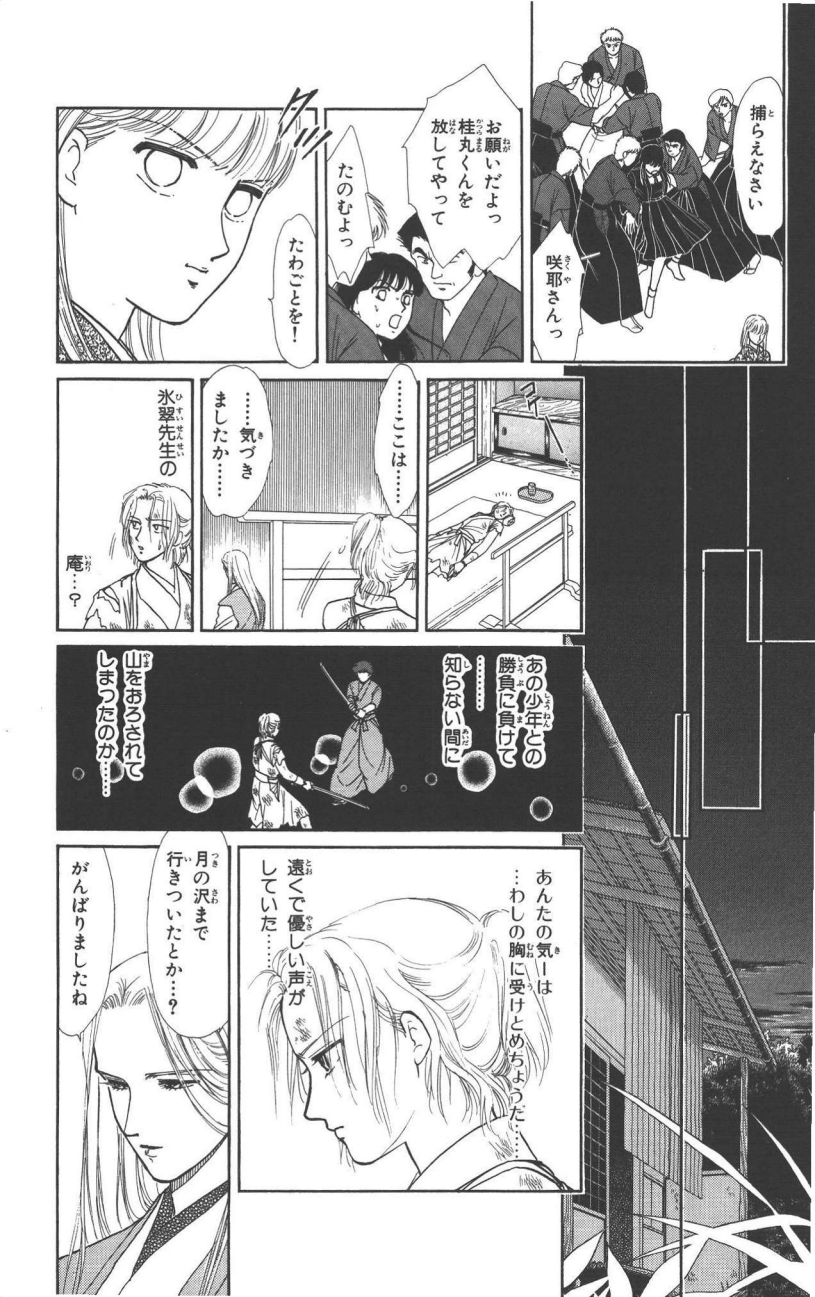
あやつに渡しは
しなかったものを……っ

……咲耶さん……

バラ

バラ

おしゃべりは
おしまい……


捕らえなさい
咲耶さんっ
お願いだよっ
桂丸くんを
放してやって
たのむよっ
たわごとを！
……ここは……
……気づきましたか……
氷翠先生の
庵……？
あの少年との勝負に負けて……知らない間に山をおろされてしまったのか……
あんたの気ーは…わしの胸に受けとめちょうだ……
遠くで優しい声がしていた……
月の沢まで行きついたとか…？
がんばりましたね


がんばった……？
この体たらくをつかまえて……
湯の用意をしてあります
汗を流していらっしゃい
一体……
チャプ
あたしは何をしに来たんだ……
あん人だけーにしとっても
そんは望ましいじゃ……
何にもならないのか……
あたしのした事は……
氷翠先生……オフロどうも…
ああ篠北さん身だしなみが整ったらこちらへ……
天玄斎先生がおみえになっていますから
え!?
ようきばってくれたのう篠北さんや

は…はじめまして……

ほれほれちゃんちゃんに

剛の破門はとり消すちゅうだにはできんっ

どげしてもとり消したとうちゃっても

あいつはかえっては来んじゃがね

そげさ かえれんようになっとうとちがっーはずじゃ

今は対心新影流にどかっといるようじゃな

大門から聞くには

流派 どげでもまた剣の道を進む気ーになっとうのはひとつの成長じゃがね

ずばっと言わしてもらーがの

コホン

そげにして あいつはあいつで自ら新しい道をいっとうのだからなんもおまはんが過去にこびりつく必要もないだらぞ

……

不思議だ……

逢って下さってありがとうございます

もっとすがってでも頼み込むつもりだったのに

紅櫻 時堪鳥燦桃處臥

ひょーしぬけ…というんだろうか…

いやいや

あたしは……きっと……
剛のためにここに
来たんじゃあない

自分のために
来ちまったんだ……

罪の意識から
逃れようと

あいつのために
必死になってがんばれば
きっと思いは通じる……なんて

空しい感傷だ……

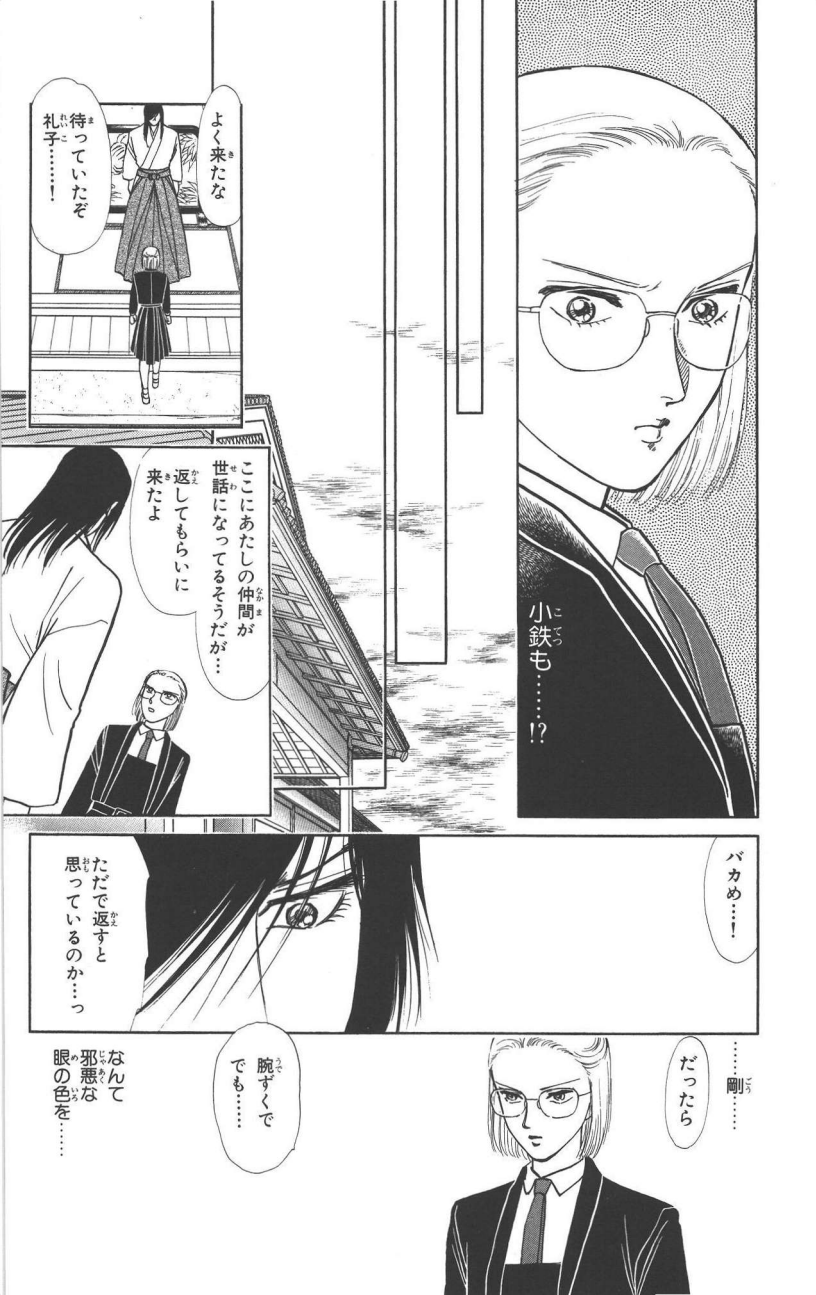


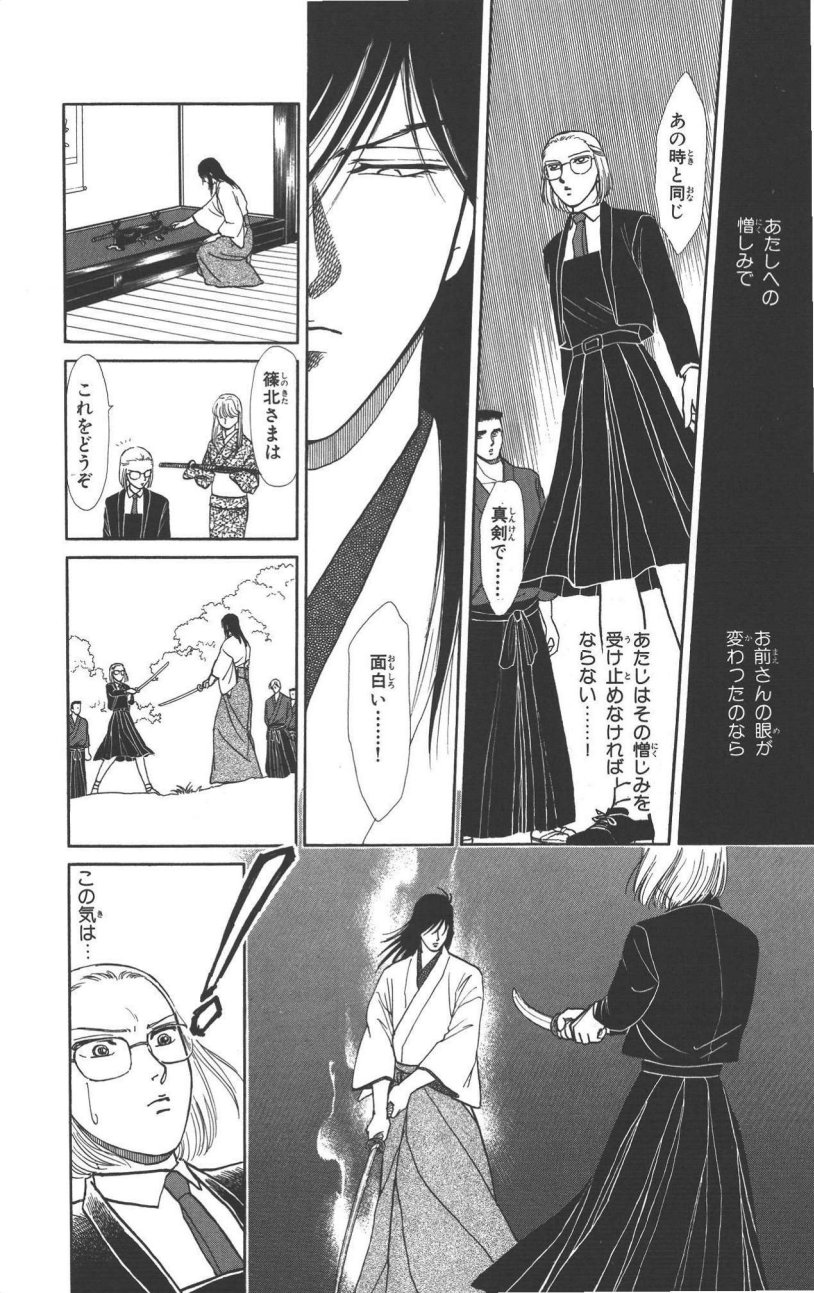



えっ
矢島さん？
そう
今日 お休み
なんだに
ぼーんやり
へえ…
ほいじゃあ
日向さんも
三枝さんも
命のセンタク
だがね？
いやいや
それだて
きっともう
矢島さんのムチなしでは
おられへん体なんだに
うおおー
マガネーッ
ぼーんやり
ズシャ
ズシャ
おっ
日向さん達
三枝さん達だぬ
ようヒマそうだがや
たちばなしっ
おみゃーこそ


ようっ
三枝
メリ
ラッ!!
かかったぞっ
うわっ
バサッ!!
何だ何だ
何のマネだて
こりゃー
なーんだて
日向か
おみゃーの言っとったとおり
ワナ張っといたんだがや
言い訳しぺが
かかってりゃ世話ねーや
ガハハ
るせーっ
ところで何の用だて
いやなに…
昼休みなのに
やっぱ来てーへん
のかなーっと…
だはは
えーではプリントを
参考にして……
表のⅠ・Ⅱは
金星の電子密度分布
測定値とあと…昼間の…
ガラリ
遅くなって
すみません
おや…篠北……


ちょっと具合が悪かったもので……
いや…まあいいけど……
でもこれ5時限めの後半だぜ…休んだ方がよかったんじゃないのかー
えー表Iのほうは金星の中心距離があらわされているわけだが……
具合悪いって大丈夫そう？
……
……
え？矢島さん？
いや……今日休んどるけど……
休み……？
ああ…木堂くんなら今日は欠席だに
桂丸くんも……？
……一体……
矢島さんならウチにいます
……咲耶さん……
あの髪の長いきれいな間者さんも一緒にうちにつかまえてありましてよ


よく来たな
待っていたぞ礼子……！
ここにあたしの仲間が世話になってるそうだが…返してもらいに来たよ
小鉄も……!?
バカめ……！
ただで返すと思っているのか…っ
……剛……
だったら
腕ずくでも……
なんて邪悪な眼の色を……

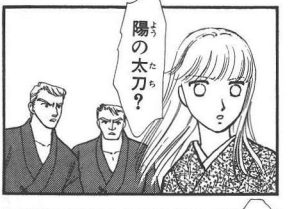

あの時と同じ
あたしへの
憎しみで
お前さんの眼が
変わったのなら
あたしはその憎しみを
受け止めなければ
ならない……！
真剣で……
面白い……！
篠北さまは
これをどうぞ
この気は…

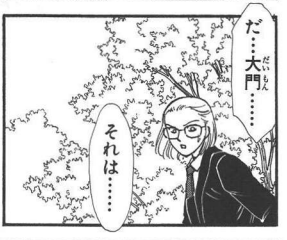

うっ
ハア
ハア
ハア


あっ
うっ
ぐ……う
剛……？
ちっ
ぐぐぐ
もうやめろ剛……！
そんなことでお前の迷いは断ちきれやしねえ
その声は……
かわしきれない……!?


お前の迷いは
俺が断ち切ってやるぜ
大門……！
どいてろお北
だ…大門……
だいたい妖気をもった陰の太刀を相手にそこいら辺のフツーの真剣が役に立つもんかい
陰の太刀に唯一対抗できるのぁ
出雲神名火山に神和隅源幽自らが奉納したこの陽の太刀のみだ……！

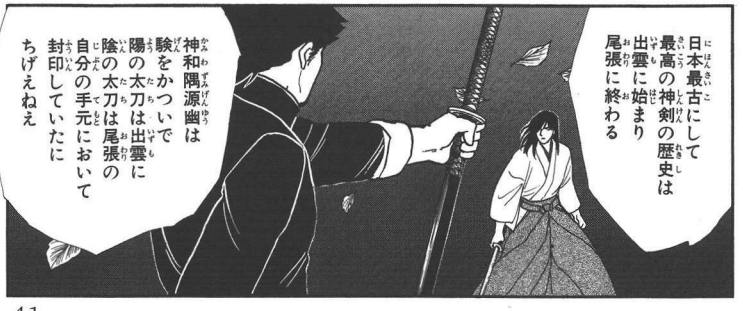

何!?


陽の太刀?


だ……大門……
それは……

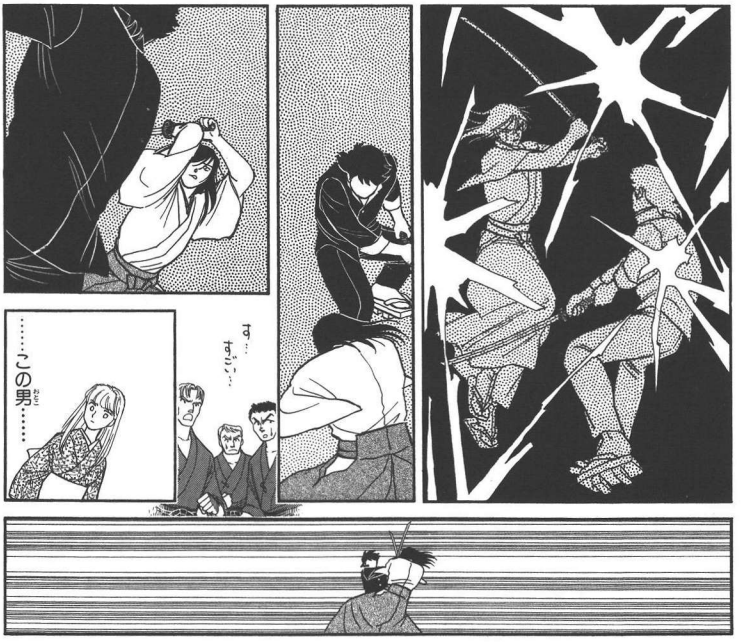

出雲を出るとき
師匠がもたせて
くれたのよ
師匠は対心新影流のことも
よく知ってて な…ま色々
聞かせてもらったぜ


三種の神器の一つである
草薙神剣…天叢雲剣は
出雲国簸川上において
八岐大蛇の体から生じた
それは神々の手を渡り
およそ一千八百七十年前
日本武尊の妃宮簀媛命によって
熱田に奉安せられ今に至る

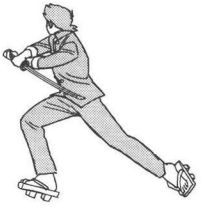

日本最古にして
最高の神剣の歴史は
出雲に始まり
尾張に終わる
神和隅源幽は
験をかついで
陽の太刀は出雲に
陰の太刀は尾張の
自分の手元において
封印していたに
ちげえねえ


だがここで
陰陽両極の太刀が
相まみえるのも
何かの縁たあ
思わねえか
……
…たしかに…
行くぜ！
剛っ!!
来い
大門!!


ザザザザ
ズーン
はっ



陰の太刀の
妖気を……





次期さまの
負の情念を

昇華させてしまう……!?

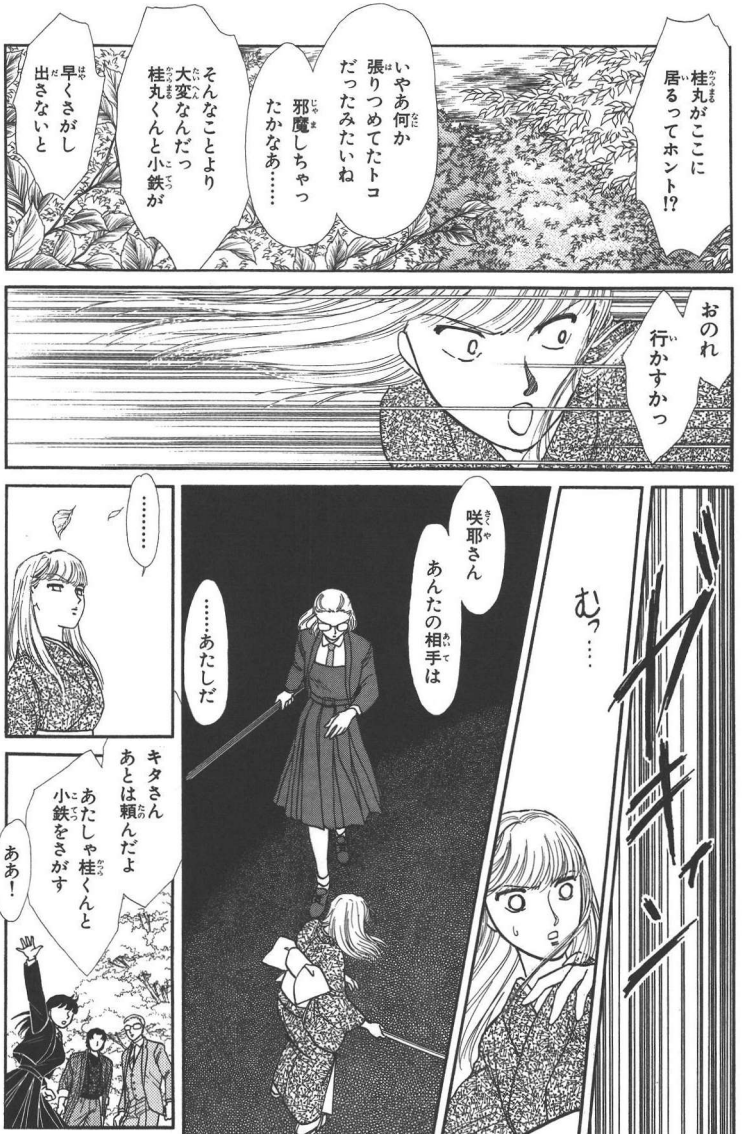
……そんなことは……


あっ
お嬢さま……？
咲耶さん……？
あの勝負……
やめさせなければ……
そのための人質ではないけれど……
仕方ないわ…
ゴトリ…
……
…咲耶さん…
いらっしゃい
矢島さま……
なるほど……
そんなとこに突っ込んでたのかい


キタさんっ
む……
ぐーっ
……おのれ……
いよっ
あっ
やじさん
お待ちっ
早く早く
縄といてっ
わ――っ
来た――っ


ミッ
ミッ
ぶわり…
わあっ
ゾゾゾ…
うっ
やじさんっ
なっ……
ど…どういう……
この咲耶さんの腕前は……
ザザザ…
っ……
だっ大丈夫かいっ
ああ……
あーったくこんなときあんたにも木刀があればっ
そんなこと言ったって


篠北！
え!?
ざっ
ぬっ…
何者…っ
矢島！
篠北！
大丈夫かっ
きっ……
菊千代くん
真吾さん……!?


桂丸がここに居るってホント!?
いやあ何か張りつめてたトコだったみたいね
邪魔しちゃったかなあ……
そんなことより大変なんだっ桂丸くんと小鉄が
早くさがし出さないと
おのれ行かすかっ
むっ……
咲耶さん
あんたの相手は
……あたしだ
……
キタさん
あとは頼んだよ
あたしゃ桂くんと小鉄をさがす
ああ!


……篠北……
サワ…
相手にとって不足はないわ……
……
……咲耶さん……
なんて……
邪悪な気を
発するんだ……!!


まるで……
この邪気は……!!
からみつくような
うっ……
ぐっ……
ヨロ…
ヨロ。。。
ハア…
相手の邪気にとりつかれて
自分の気が整わない……
むっ
逃げるかっ


逃がすかっ
キィィン
はっ
パシャッ
サラ
サラ
水の…音…
じゃじゃしーような妨害はてきんがね…
本気の勝負を
あんたの気ーはうけとめちょうだ
あ…
あの少年の…清浄な気を…
瞬…
ああ…
月の沢…を思い出した
負けちゃあいけない…

咲耶さん……お前さんにじゃあない……！

その
負の気
にだ!!


あ……
あれは……
次期さま……
大門……？
ごっくん


あれが……
咲耶さんの言っていた
ご神刀……
それに　だいたい俺
前からここの道場は
何か変だと思っとったんだて
おっ　おい
日向！
あれ！
だって　ここいらって
あの何とかって道場の
敷地内なんだらぁ？
俺の舎弟が
もってきた情報じゃ
まちがいなく
矢島はこっちに
入ってったんだってんだで
おい！　ホントに
こんなとこに
あいつがおるんか
ああ
絶対だて
ガサ…
ガサ


何……!?
あ…あれは
矢島と一緒に
転入して
きた奴と
風紀委員の
神和隅
だがや
か……
神和隅……
……っえ～～……
ガクゼン


む……きっ
きさまっ
剛!!
お前
いいかげん
その右目への
こだわりを
捨てろっ
何だと……っ
自分で自分を
憐れむのは
やめにしろって
言ってんだよ
……ゆ……
この俺が……!?
自分で
自分を……
許さんっ!!

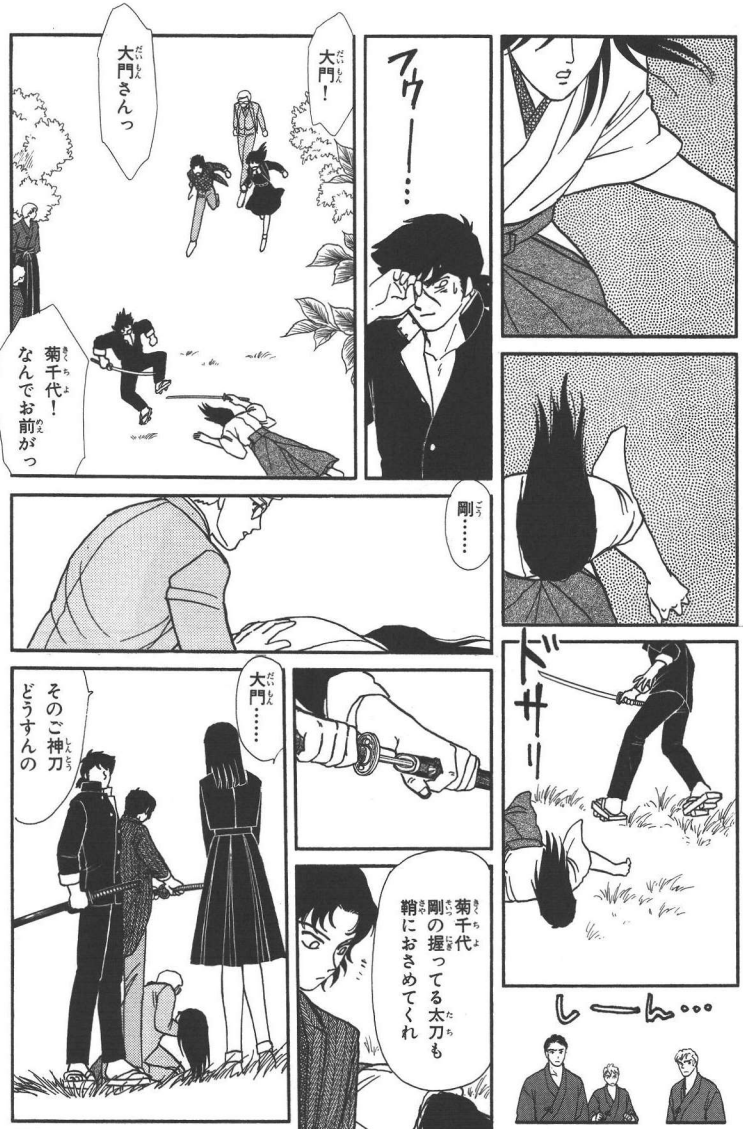

キィーン
言ったはずだぜ 剛
俺がお前の迷いを……


断ち切ってやるってな


……大門……
ガッ
ニヤ…
……剛……？
う…ぐう……
ハア…
ハア
うう……

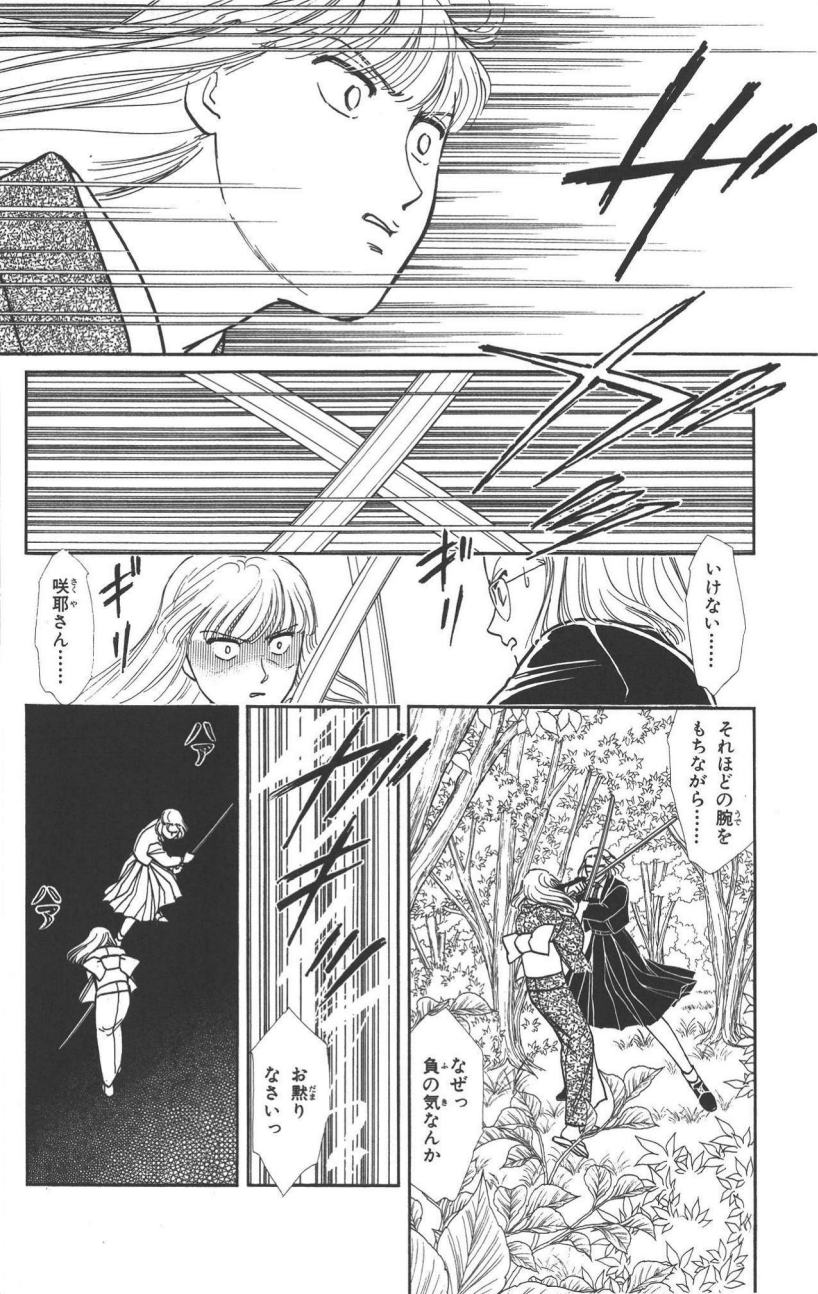

ちっ
いかん……
お嬢さまは…
お嬢さまは
どこだ……
さ…っ
…さあ……
だっ
ユラ…
ハア
ハア
妖刀め……
いよいよ
本性を
あらわし
やがったな
うう……
陽の太刀！
頼むぜ
ペッ
チャキッ

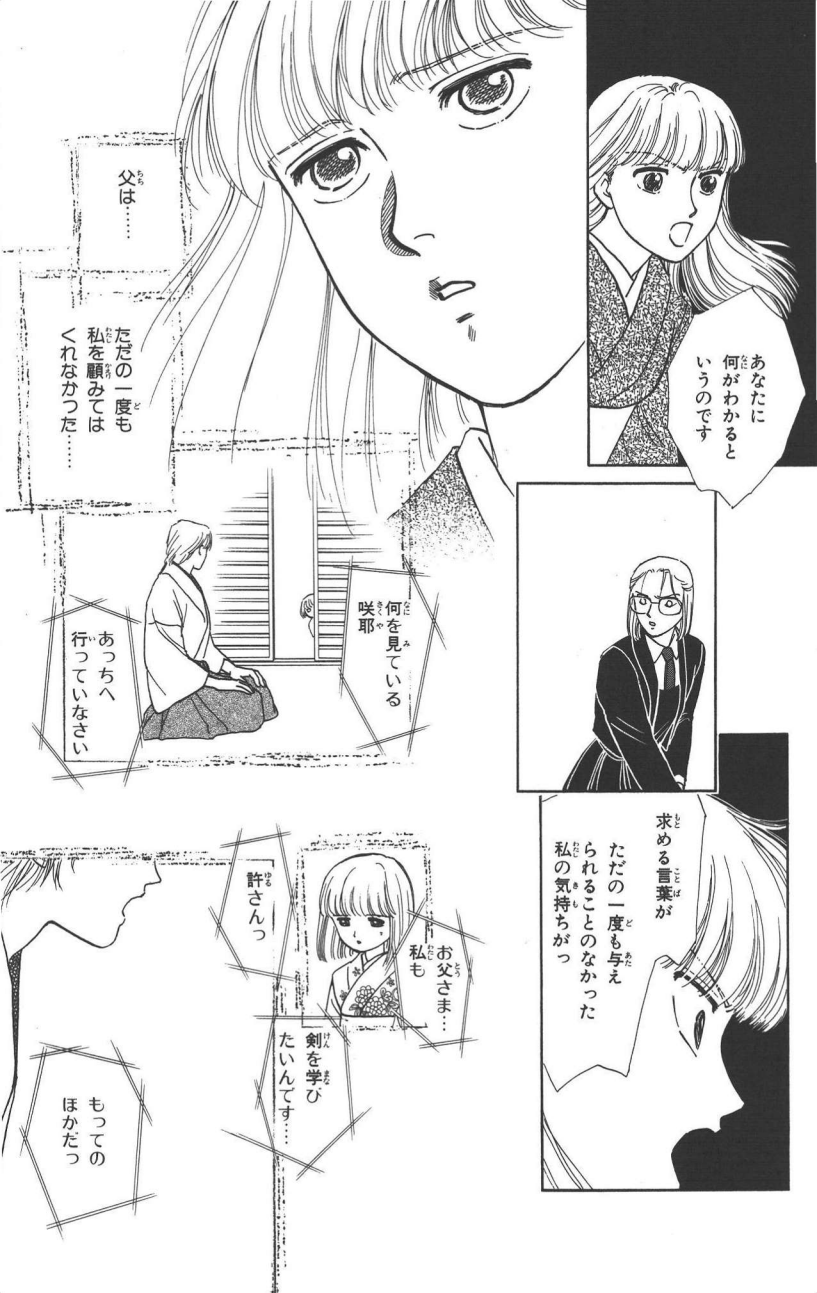

出て行きやがれ
陰の太刀の妖気よ
剛の
体からっ!!
あっ……


大門！
大門さんっ
菊千代！
なんでお前がっ
フウー…
剛……
ドサリ
しーん…
大門……
そのご神刀
どうすんの
菊千代
剛の握ってる太刀も
鞘におさめてくれ


そうさな
今度こそまちがいがおこらねえようにガッチリ封印しておかなきゃな
…その前に……
一度だけ……その刀…あたしに貸してくんないか……
ん？
ガタリ
そっ……総帥っ
さっ…咲耶は……
どうなさったのです
そんなお体で……
ガキ
ガッ
なぜだ咲耶さん
これほどの邪気をまといながらも


あたしには
お前さんの奥に
哀しみが密んで
いるように感じられる
知っているんじゃ
ないのか……
誰よりも
咲耶さん自身が
負の気に
身をまかす
哀しみを……


いけない……
咲耶さん……
それほどの腕をもちながら……
なぜっ負の気なんか
お黙りなさいっ


あなたに何がわかるというのです
求める言葉がただの一度も与えられることのなかった私の気持ちがっ
父は……
ただの一度も私を顧みてはくれなかった……
何を見ている咲耶
あっちへ行っていなさい
お父さま…私も剣を学びたいんです…
「許さんっ
もってのほかだっ


お父さまと同じ場所に
居てみたかったんです……
私の中の父の像は
いつもあの妖しいご神刀を操る美しいお姿で
女子は道場に立ち入ってはならん
女子が剣について知りたがる必要はない
お父さまは……
たった一人の子である私が女なのがおいやなのね
じゃあ……
もし男だったら私を見てくださったの？


でも……私は女だわ
ならば
ああ……男に生まれていれば……
私の求める言葉は
一生聞くことは
できないのね……
私だって
好きで女に
生まれた
わけじゃないわ
あんな父親大嫌いっ
憎しみで息が
止まりそうなほどよ
……
咲耶さん……
誰かを
こんなにまで
憎んでいるのが
私一人なんて
許せない……！
咲耶さんっ
キタさんっ


咲耶さんっ
待った！
おじさんっ
お嬢さまっ……


咲耶さんっ
これを
お受けっ
ええっ…
そ……
それは……
ご神刀……!?
抜いてごらん
咲耶さんっ
何ですって
バカなこと……
このご神刀を
抜けるのは
ご神刀自身に
選ばれた
者だけよっ
私に抜ける
はずないわっ


抜くんだ！
咲耶さん
何も考えずに
抜いて
みるんだっ
何でもいいから
抜いてごらんっ
……無理よ……
菊地にも抜けないのよ
ぐぐぐ
だめ
です……
私には……
女の私に
抜けるはずが……
キッ


抜けたっ!?
やったあ!
咲耶さん!!
うそよ……!
こんな……
に…にせ物だわ……
ちがうよ!
にせ物なんかじゃない!
さっき
あたし達も
試してみたけど
全然抜けな
かったもん


そうよ
自慢じゃないけど
ぐぐぐ
な、
何よこれっ
この桂丸と
そっくりのぼくでも
抜けなかったのよ
ご神刀に
選んでもらえ
たんだよ
咲耶さん…あんた
正真正銘……
ポン
……
よかったね
うん
うん
ポン
ポン
よかったね
咲耶さん
き…菊千代くん
一体これって…
何よ篠北
あんた何も
聞いてないの…
ホントに……
さ……
咲耶……


お…お前は……
……お父さま…!?
ザッ
総帥…!?
そんな
お体でっ……
も…申し訳
ありませんっ
いや……
いいんだ
咲耶…お前が……
お前がそんな気持ちで
いたなんて……
すまん…
すまなかった……
浅はかな
父を……
許してくれ……
お父さま……


やった！
居たわ
こんな所に
き…菊千代……なぜあなたが……
大丈夫？
なぜあなたがっじゃないわよおバカさんっ
も――っ世間知らずなんだからっ
な…何をそんなに怒っているのだ
キーッ
わかってないわねっ
大丈夫かい小鉄……
ど…どうも……
しっかり
すまなかったね
こんな目にあわせて
いえ……そんなことは……
ですが
一時はもうお逢いできないかと思いました……
よしとくれ縁起でもない


フッ!!
やあ
気がついたかい?
……真吾……?
……お前……
何故お前がここにいるんだ
ああ…うーん……まあそんな細かいことは気にするな
それより急に動かないほうがいいぞ
うっ……
ああホラホラ
峰打ちとはいえそーとーカツを入れたからな
それにお前……ずっと負の気の導引を続けてたんだろ
それがかなり体をまいらせてたんだ
今はどう?気分は
ああ…そうだな……


頭の中の霧が晴れたようでもあるし……
疲れているようでもある


お前はな
陰の太刀の妖気に操られていたのよ


お北を……なあ
許してやれよ
……

俺は……
俺がずっとずっと許せずにいたのは……
きっと……本当は礼子ではない……
……本当は……

青龍剣への執着を
いつまでも捨てきれぬ
自分自身の
未練がましさと









そんな憐れみの目で
俺を見るのはやめろ!!

礼子にあんな目で
見られるようになって
しまった自分だ

剛……

俺のカナダの友達で お前の目を
ぜひ手術したいって奴がいるんだ
大きな声じゃ
言えないけど

最新の技術の実験的な
要素が多く含まれるんで
ただでも
かまわないって
少々オソロシイ
話なんだけど
受けてみないか

俺は一日も早く
お前の右目が治る
ことを祈ってるんだ
……治すべきだよ


許してください
総帥……
お嬢さま……
私がそそのかしたも同然です
お嬢さまに剣をおおしえしたのも……
私の…総帥への一種の反逆だったのです……
……もういい……
菊地……
私が……
咲耶を遠ざけたのがすべてのもとだ
だが…咲耶…決してお前がうとましかったのではないのだ……
私は…娘には……
あの妖刀にも…道場にも近づいてほしくはなかったのだ
妖刀によって選ばれた忌わしいこの私自身にも
お父さま……
もう……
いいのです……
……もう
それよりも
お元気になってください
一日も早く……


だいたい……
何であんた達がここにいるんだい
い…いやその……
えへへ……
怖い？
怖いって一体どんなだて……
あー、やめてくれっ
思い出すだけでも身の毛がよだつっ
えへへじゃないだろ
そんな事なら俺達見てまったがやアレ
アレ？
もう一人の転入生と神和隅の勝負だが——
もーっぶったまげ神和隅ってすげーのなっ
そうともさあんた達あの人怒らせないほうがいいよここだけのハナシ
あの人あれでオニのよーに怖いんだから
夢見が悪くなりそうだからあたしゃ帰るよ
んじゃっアバヨッ
おっおい矢島

あの悪魔のような矢島が……

身の毛がよだつほどって一体……

実際信じらんないわよ

何はともあれ無事でよかったよ

今このご時世に人身御供だなんて

ああまったく

聞いた話によるとあの総帥の時選ばれた美童というのは総帥の実の弟だったそうで結局儀式の時も決断できなかったそうなのです

もうこれっきりご神刀も封印して変な儀式もしないって総帥が約束してくれたんだ

ヨカッタ ヨカッタ

だけどあれか？総帥の代替わりの儀式ってこたあのお嬢さんのオヤジもやっぱさあ……

あ……いえ……

儀式の最中総師はご神刀をなげだしてしまったらしいんですが

その後あの道場内で奇怪な事故があいつぎ他の門弟達が色々悲惨な目に遭ったので

たたりの責任を感じた弟さんは自らご神刀で自害して果てたとか……

哀しい歴史ね……

ああ……

ホントに……


おっ！
よっみんな
元気かいっ
ガラッ
よう！ 今日は出てきたんかて
おっや――
何だい何だい
すっかり仲良しさんだね
仲良し？
ピクッ
ん？ まだ争いたりないと？
ああ～～～っ
いやいや仲良し
仲良しなっ
うんうんっ
バン
あはは そうだろう
男同士はケンカすると
仲良くなれるもんだっ
何 昭和ヒトケタの
オヤジなこと
ゆっとるだて
ばん
ばん

実はね……

何〜〜〜っ

お別れだあ〜〜〜？

そんじゃ
これからも
仲良くおやりよ

ちゃおー♡

そ！　あんたらが
仲良くなってくれて
ホント良かったよ

ざわざわ

ボーゼン

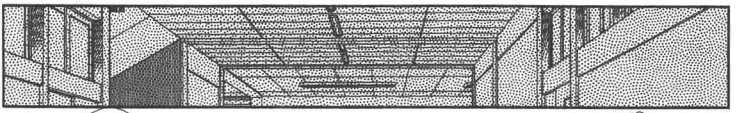
ザワ

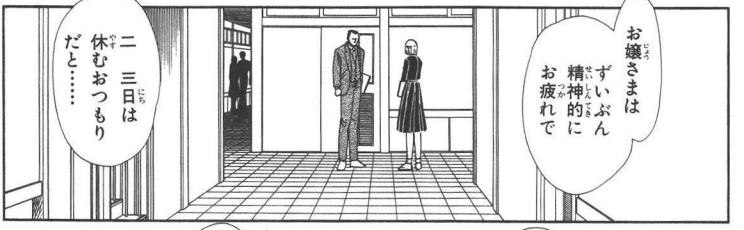
あれ　今日
咲耶さんおらへんの？

うん　風邪で
お休みだって

ああ…明日の
委員会のこと……

ザワ




お嬢さまは
ずいぶん
精神的に
お疲れで
二　三日は
休むおつもり
だと……


そうですか……
よろしく伝え
てください……
……あたし達は
もう宝生高校を
出て行くから
きっともう逢えないだろうから
……次期
さまには
……何も…？
……ああ……
……何も……


いやあ　しっかし
すげえな
昔の殿様ってえのはよ
定光寺
いや気にすんなよ
いいのか真吾……
お前カナダに戻りたくないんじゃないのか
何しろ相手は学者だからね
俺がついてって見張ってなきゃ手術のついでにどこいじられるかわかんないだろ　頭の良すぎる奴ってたいがいイッてるから
それってお前が言うと説得力があるなあ
ごめん…つい……
剛カナダに連れて行くんだと思ったらよみがえっちゃって
ワカムシャね
おお！
タカガリ
城からこんなに離れてるトコなのに
こんなほうまで鷹狩りのテリトリーだったのかあ
何いきなり外人してんだお前
…ゥ


右目もあいた
お前って
どんなんだろう
何かわくわく
するなあ
変な奴
くすっ
自分の目が
開くみたいに
……
剛……お前が
そんなふうに笑ってる
顔なんか見たの
何年ぶりかなあ
……で…いいのか
この先のこと……
この先……？
その目が治って
帰って来ても
また対心新影流に
戻って一からやり直
すってハナシよ
ああ……
その
つもりだ


対心新影流の
原初の教義は
負の気の限界を
体感することだ
闇を肯定することで
光の意義を知るように
人には必ず
負の部分があるのだと
人間である以上は
その真理からは逃げられない
ことを知るために
ならば対心新影流の
極意とは何か
俺は知りたい
もう
迷いは
ない
そうか……
まあ
そんなら
いいんだけどよ


ああ
本気だ
ちょっと
本気なの――っ
信じらんないわよ
あんたって子は――っ
あんたはあの道場に
だまされて連れて
かれたのよ
あげくの果てに
命まであぶな
かったんじゃない
だが
もうご神刀も
封印するというし
儀式もなくなる
だからってねえ
日野先生も
菊地先生も
次期どのも
咲耶どのも
皆よくして
くださった
あと足で
砂をかけるような
マネはしたくない
それに私は
次期どのの剣に
ひかれているのだ
次期どののいる限り
あの一門を出る
気にはならない


菊千代……
あなたには
すまないが……
あーもーっ
わかったわよっ
好きにすれば
いいでしょーっ
バカらしいっ
ぼくもう行くわっ
でもいいこと！
又学校に来るから
元気でいるのよっ
いいわねっ
そっかあ……
咲耶さん
いなかったのか
残念だなあ
何も言わずに
お別れなんて
ああ……
そうだね
やじさん
今回はお前さんにばかり
面倒をかけちまったね


えっ
すまな
かったよ
そいで
ありがとう
どっどっどーしたん
だいっ一体っ
やめとくれよっ
気色悪いっ
あのねー
だめだね
やっぱ
自分のことって
何をどうしていいのか
わからなくて
何もできなくなる
キタさん……


そーゆーもんさ
あたしすっごく
気が楽だった
もん
他人ごと
だったからね
……
何か
おごるよ
ホント？
ああ
何がいい？
天むすが
いいなあ～～～
何もできない
なんて
そんなこと
ないよ


あたし大門から聞いたんだ
あんたが出雲で何をしていたか
握っていたのは大門でも
あの陽の太刀が借り受けられたのは
あんた自身さ……！

やじきたCが大須の
宝生高校を後にして
わずかののち

陰の太刀は
再びかたい封印を施されて
対心新影流の道場の
裏庭に埋められ



そこに
祠が祭られた
そうです


よーよー
だからよー
5千円でいいって
言っとるだらぁ？
えっ…でも
な――っ
ギクッ
三枝くん達
そこで何を
しているのですか
げっ
かっ
神和隅っ
……さん……
もうすぐ
4時限目が……
あっはい
行きます
行かして頂きますっ
日向と三枝も
その後バッタリ
番争いはしなく
なりました
影番が決まって
しまったからです

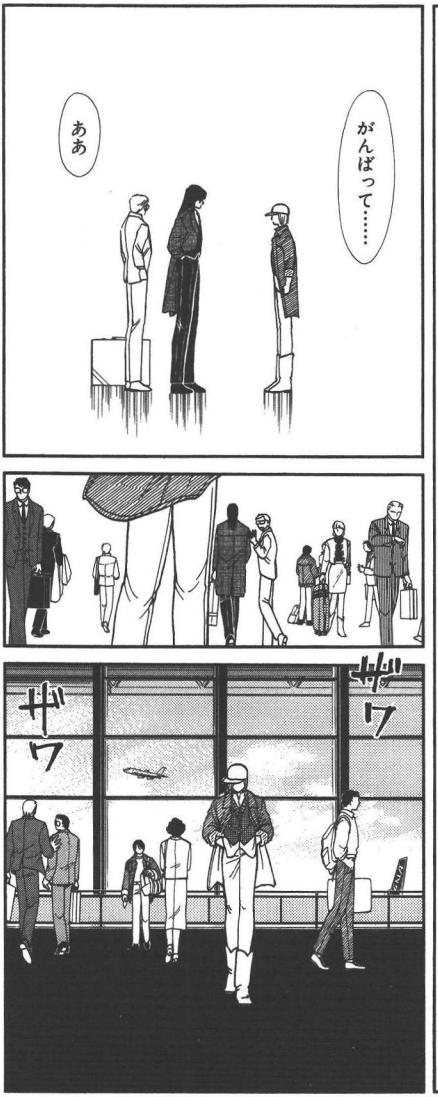

篠北！
こっち
こっち
真吾さん
どうしたんだい
急に帰国
するなんて
それに他の
皆は……
何だ！
君 何も
聞いてないの
見おくり
のさ
他の皆？
何もって……
見おくってやって
ほしかったのは
あいつ！
君達何のあいさつもなく
名古屋去っちゃっただろ


あいつ？
あつ……
……剛……
礼子……
……
真吾……
これは…っ
まあそんな顔してないであいさつしろよ
ちっ
ちっ
……
何黙ってんだよ
じれったい奴だな
あっあのね篠北こいつね


右目の手術
受けに行くんだよ
手術……？
右目の……？
そうなんだ
……まあ…
痛々しい傷跡……
……そうか……
礼子…お前の視線はまだ俺には辛い……
……その憐れみの色が……
あいさつは

帰ってからにしよう

今はまだ互いに相手の目を見ては話せないから

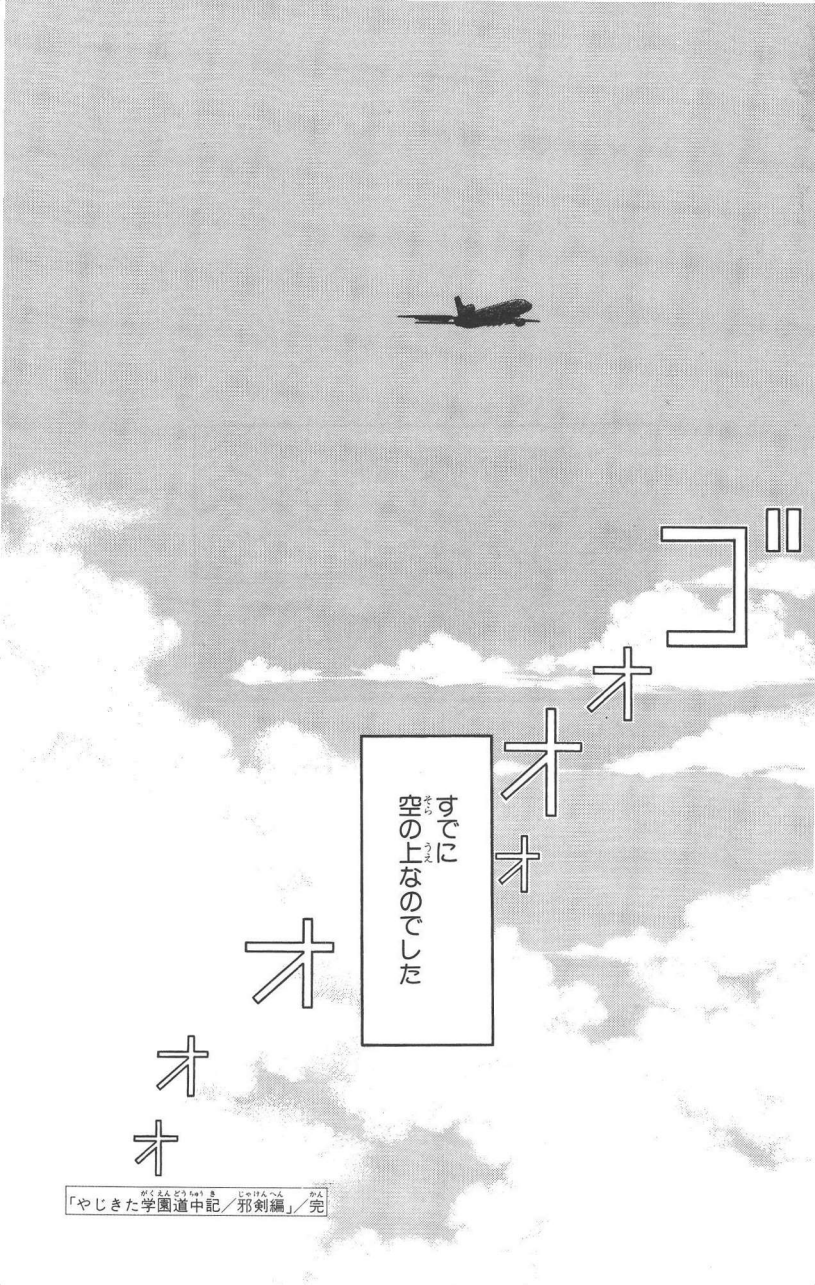


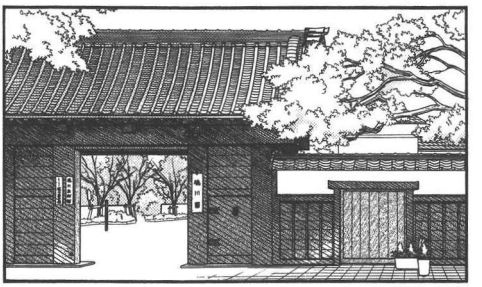

ん？
お前さん達……
そこで何してんだい！
えっ……
あの……
いやその……


その犯人は
TRAIN


やじさんっ
ちっちがうよ
あたしがしゃべったんじゃな――いっ


いやあ　あれが女史の過去の男ですか
意外だなあ
何を考えてんだい
そんなんじゃないよっ
ボカッ


ゴオオオオオ
すでに
空の上なのでした



今度の舞台が名古屋、で発表された後 本当に沢山の
名古屋の人々からお手紙、頂きました。地元ネドバイス
を山ほど頂きましたが 話の中で使ってあげられなくて
ご免なさいでした。
時代劇の中ではたいがい悪役扱いを
受けてしまう尾張さまに 私はけっこう
愛を感じています。

作品中の名古屋弁はチャンピオン編集部の横山さんに
お願いしました。ちょっとやりすぎじゃないかとゆうぐらいに
してね と私は指示しました。横山さん ご協力ありがとおん♡
本当に地元の人でないとわからない地区別のビミョーな
言葉の差を指摘して下さったファンレターもありましたけども
作者である私が大ざっぱで そこまで奥深くなっちまうと
とても使いこなせないので 目をつぶって下さい。

名古屋に取材に行って一番カンドーしたのは
とある大きなデパートの中でキッパリと
「フロンガス使用のスプレー製品や紙あむつ等は
環境保護の為販売しておりません」と
張り紙してあったコトですね。えらいっ!!
さすがは名古屋だねえ。大手がやって
くれるところがすごいではありませんか。
名古屋ってそういうとこキッパリしてるような気が
するんですよね。

名古屋は道路や公園が広々してますね。
公園の一角の花壇を見て「何坪あるんだろう」
と思わず考えてしまったのだった。 かないゆも…

ああっみそかりを食べそこねてしまった。


何ですって?
また逃げた?
はあ…
Los Angeles Business
タイクツ社長の極めてうかつな墓穴
やじきた番外編!!
はっ?
まだそう遠くへは行っていないはずです
つかまえて来て下さい


バシャ
バシャ
いたぞ！
追えっ
うっ
社長っ
いけません
お戻りを……
あの……
バシッ
こんな雨の……
これは…っ
ゴボッ
社長じゃないっ
き…君……
おい行くぞ
フラ
フラ
おおかた酔っぱらいだ
逃がすな
ザッ
草の根を分けてもとっつかまえろ


いたぞっ
囲めっ
まっ……
待ちたまえ
君達
固いこと
言わず
見のがして
くれないかっ
やっちまえっ

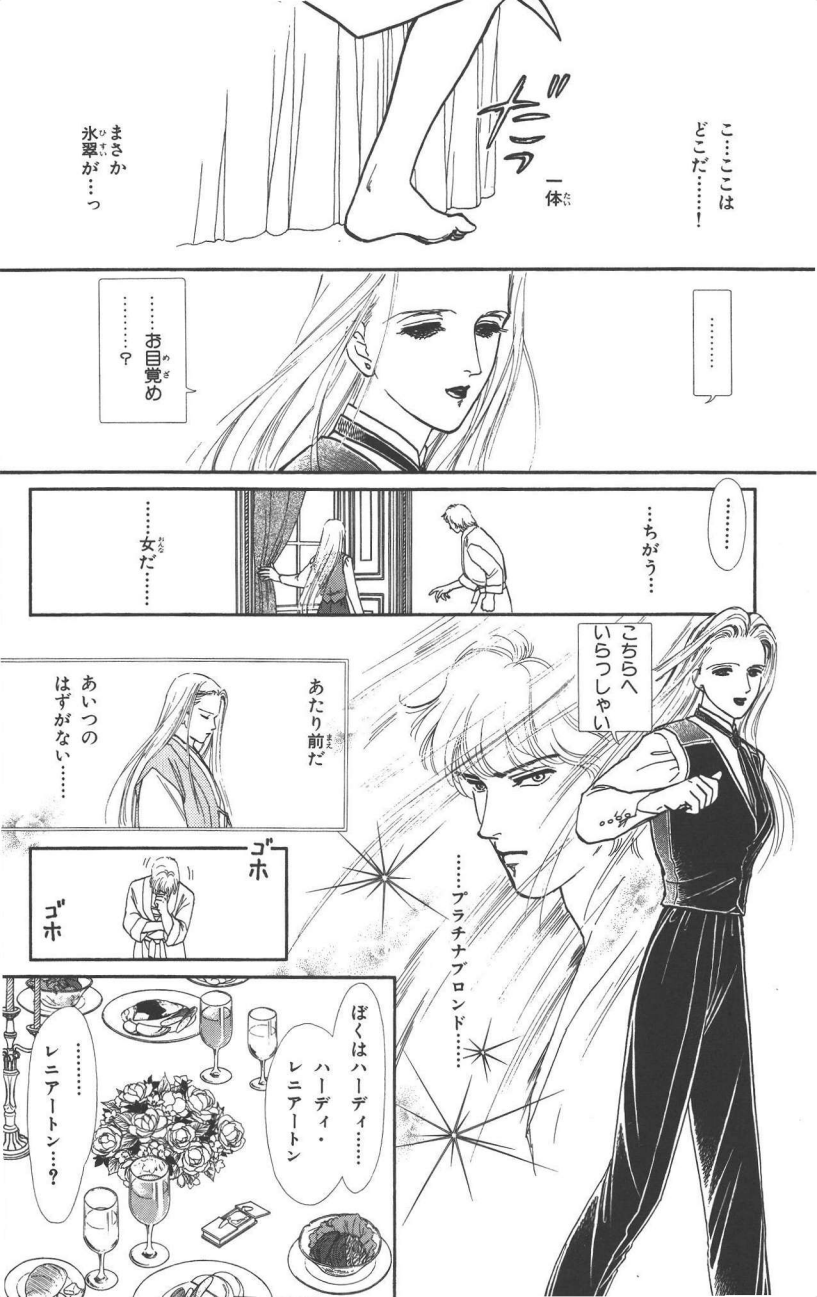

ナニ?!
わっ
おっ…
お?
あっ
コラ
コラッ
こっいっつらあ〜〜
何を考えてんだ
腕ずくで上司である
このぼくを
狩ろうなどとは面白い
いっぺん
社員教育
入れてやる


ドゴッ
うぅ……
チャキ
銃!?
何!?
つぅ〜
ビュッ


ズル…
ハア
……ぐ……
ハア
ちくしょう
てこずらせやがって
おい！
早く
吐かせろ
ハア
はぐっ……
おっ…ちょ……
ちょっと待て
ちがうぞ
あいつじゃ
ないっ
何!?
やっ…やべえ
どーりで頭が
やけに黄色く
見える気が
したんだっ
おい！
ズラかろうぜ
バニャ
バニャ
バニャ


ハア
ハア
ハア
ハア
ハア
ハア…
ハア
一体何だ……
この男は……
……
ハロー
アントニオ……？
ぼくだ
車を……


……
……白髪(はくはつ)……!?
……
氷翠(ひすい)……!?


こ…ここはどこだ……！
ガバッ
一体
まさか
氷翠が…っ
……
……お目覚め……？
……
…ちがう…
……女だ……
こちらへいらっしゃい
……プラチナブロンド……
あたり前だ
あいつのはずがない……
ゴホ
ゴホ
ぼくはハーディ……ハーディ・レニアートン
……レニアートン…？



……高峰…櫂…
…カイ……？　どう書くんだ
……こう……舟をこぐ
…オールだ
『櫂の雫も花と散る…』のカイだね
……美しい名だ
さすがは日本びいきの西ロイドバーグ社長
ゴホ
ゴホ
何故ぼくを知っている
新興の組織に出入りしてロイドバーグにうとかったらザコだ
不名誉だな
それに俺はなかなかのロイドバーグ通でね
あんたが日本に来てるってのは知ってたが まさかこんなふうに会えるとはね
老ロイドバーグ直々の異例の大抜擢で昨年17歳で西の社長に！
無類の日本びいきでそこらの日本人よりずっと日本文化にくわしいって話だ
でも本音はあれだろ 西のメインハイテク産業にとって日本が最もマークすべき相手だから
上手にからめ手で日本の企業を手駒にする必要がある……！

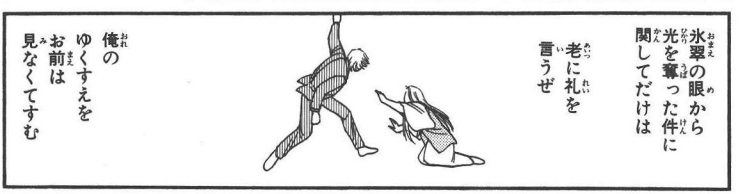

今はまだ若ぞうぶって
遊び呆けているふうを
装ってるけど
その実それながらどんどん
日本の中でのコネクションを
広げているってウワサだ
さすがは老の見込んだ
キレ者だな
退屈が
いやなだけだ
期待を裏切る
ようですまないが
ぼくが遊び呆けるのに
考えはないよ
実際ぼくがいなくても
会社は運営されてる
青二才に命令されるのが
いやな重役達には
ぼくがいないほうが快適だろう
ガタリ
ただ与えられる
だけの富は退屈だ
そうだろう
アントニオ
ロットバルトの
散歩に行ってくる
O・K
でも
……
ほどほどに…
ゴボッ
ワン♡
ゴーロットバルト
手強そうな
ボーヤだ

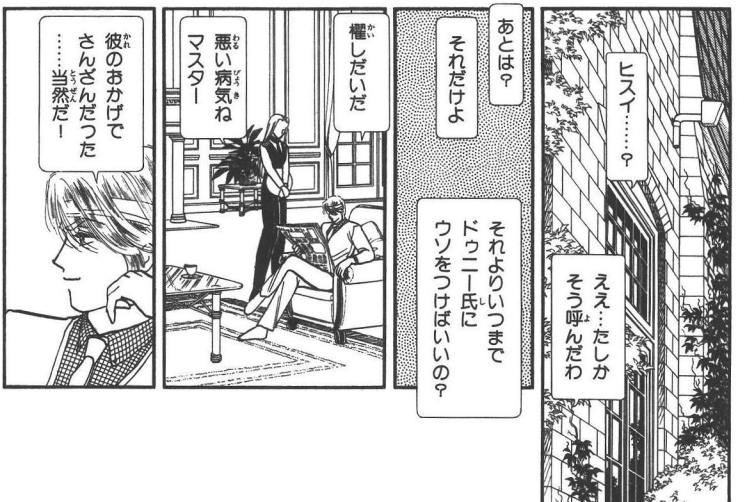

ゴホッ
ゴホッ
大丈夫……？
どこか悪いの？
君は……
私はヴィクトリア
よろしくカイ
ゴホッ
ヴィクトリア？
さっき
アントニオと…
そういや男装もしてるし
おそらく最初の者がその名だったんでしょう
やっ君が新しいアントニオかい
ああ…彼は老から与えられた世話係を皆アントニオと呼んでいるのよ
老から……？
じゃあ君も老に選ばれた人間か……
選ばれた？――クスッ
……ええ…まあね
す…？
きれいな髪だな
……ありがとう
楽だからよ
よせよもったいない
なぜ男装してる
だめよ
何てすばやい人なの


カイ……


櫂……
行かないでくれ
はなせっ氷翠


あの老ロイドバーグに
復讐なんて天地が
ひっくり返っても
無理だ
お前まで失って
しまったら私は……っ


氷翠の眼から
光を奪った件に
関してだけは
老に礼を
言うぜ
俺の
ゆくすえを
お前は
見なくてすむ


ヒスイ……？
ええ…たしか
そう呼んだわ
それよりいつまで
ドゥニー氏に
ウソをつけばいいの？
あとは？
それだけよ
櫂しだいだ
悪い病気ね
マスター
彼のおかげで
さんざんだった
……当然だ！


……カイ
朝食よ
……おきて
カイ……
くっ
きゃっ
ちょっと
冗談は
やめて
男装は
よせって
言ったのに
やめて
君のマスターは
実に酔狂な
ボーヤだ
カイ……!
どーゆーつもりで
何も言わず俺を
ここにおいてるんだか
言ったでしょ
退屈なのよ
マスターは
君みたいな
美人と一緒に
いてか…?
ゴホッ
コーヒーが
冷めるわ カイ
今日は何曜日だったかな
たしか
水曜日だよ
水曜…か…
どうか?
いや


もしもし
高峰だ
ゴホッ
あぁ……
マスター
悪趣味ね
シッ！
取引場所が……？
ああ……
わかった
深夜2時だな
カチャリ
くくく
出て行くの？
残念だがね
あなた最初私を
見たとき『ヒスイ』って
呼んだわね
誰？
恋人？

氷翠は俺の兄だ

お兄さん？

兄はある事故で俺をかばって失明し

そしてその時の恐怖で君と同じ髪の色になった

……いいんだ

お兄さん……亡くなったの…？

…ああ…

ああ…もう私ったら…ホントにご免なさい

気にするな

……

……ご免なさい…！

クスクス

私をお兄さんとまちがえたの!?

……そうだ

もう…いない奴のことだ……

ヴィクトリア……

シルヴィア・バレットという女の名を知っているか

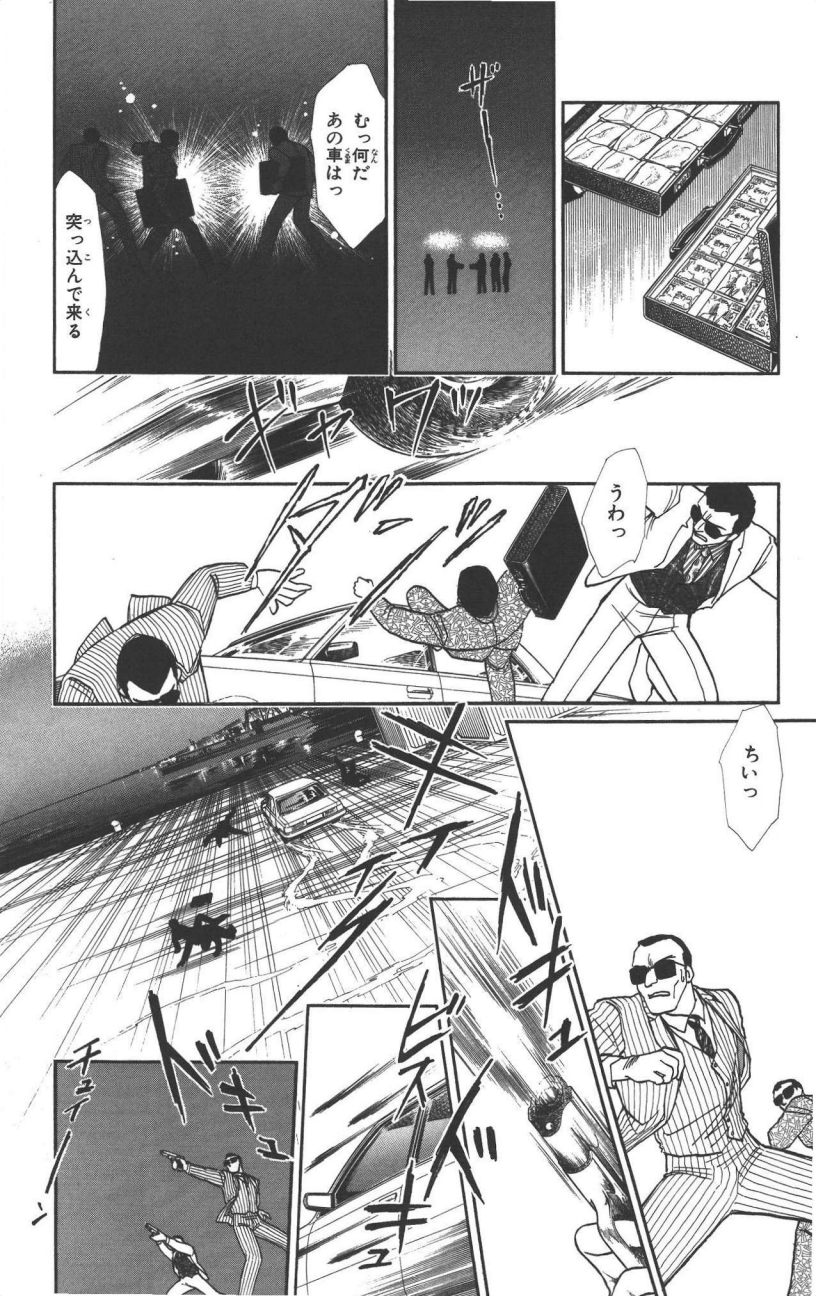
……シルヴィア…バレッ…ト？

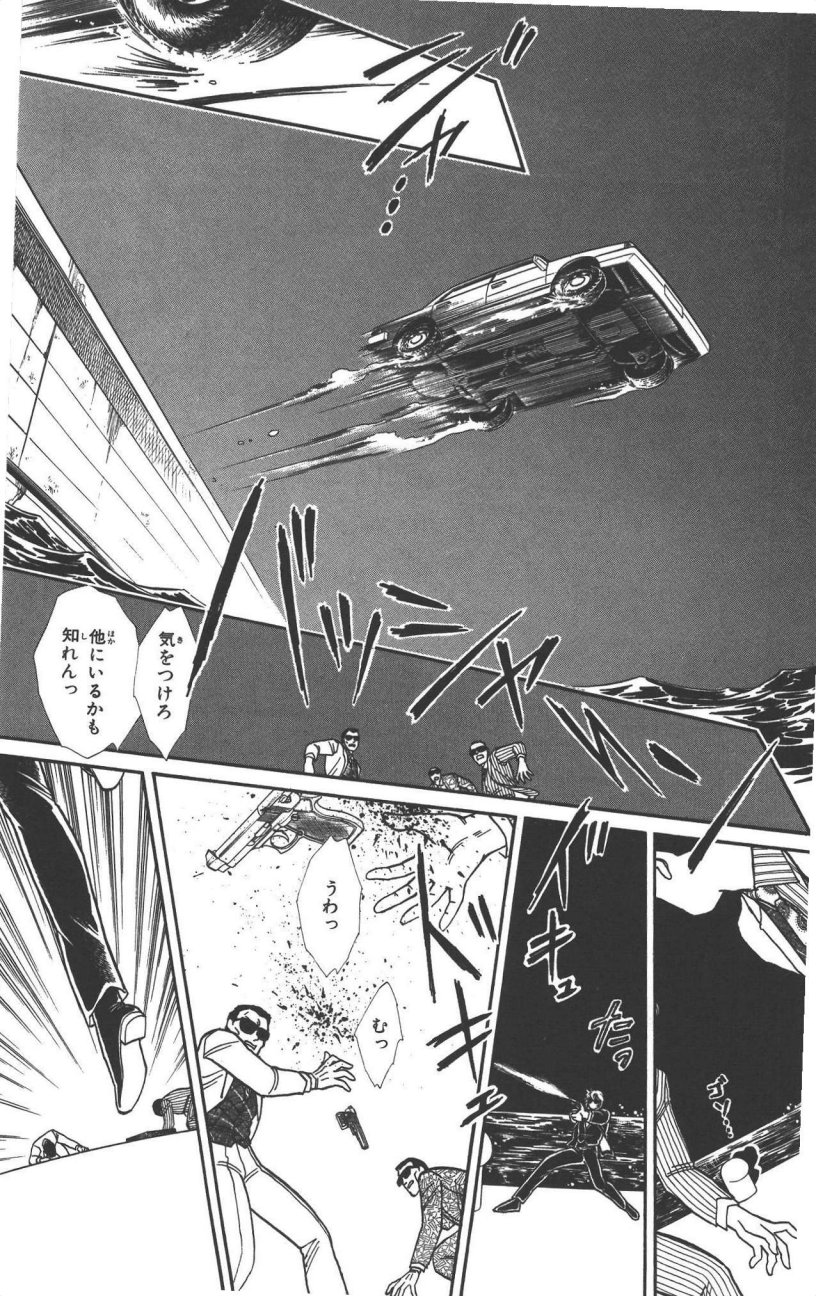
たしか……老の一番最初の秘書…が……


そうだ……
老にとってはおそらく
人生において最も信頼
できる相棒だった……
彼女があったからこそ
今の老になり得る
基盤を築けた……
だけど
彼女は……
ま…まさか
カイ……
あなた……
ずっと老のために働いて
結婚もすっかりあきらめた
彼女だったけれど
ロイドパークの僻が
固まってきた頃
ある日本人と出逢い
会社を辞めて
結婚し日本に
渡って来たという……
そうだ…だが
有能な部下ほど
手離したとき
誰よりも己を脅かす
危険人物となる
彼女はあまりにも
老のやり方を
知りつくしていた


……だから殺した…彼女を……
彼女の家族を……
え……
……ええ……
……そう……すてきだ……
カイ……あなた…
ヴィクトリア……君の眼は…見えているんだね……？
君を見て……
氷翠を思い出したからだ……
な…何故私にそんな話をしたの……？
久しぶりに復讐心がたぎって
憎しみで熱くなる……！
……カイ……？


殺してやる
老ロイドバーグ!!
ひっ?
いつか
必ずっ!!
お前の築いた
すべてを
ブチこわして……!
クックッ
……カ…
カイ……
クスクス
いやご免
ご免……
ゴホッ
ゴホッ
ほんの
シャレ
シャレ
さよなら
バタン


むっ何だあの車はっ
突っ込んで来る
ガ…
うわっ
ちいっ
キャワッ
キュイーン
ビュビュ
ドキュ
チュイーン


気をつけろ
他にいるかも知れんっ
うわっ
むっ
キュ
たっ


ガッ
メリッ
ドギュッ
うあっ
おうっ
何!?
櫂!
こっちだっ
あいつは……


バシッ
しゃしゃり出やがって
ゴホッ
ゴホッ
……
ぼくがいなきゃ君死んでたかも知れないよ
いいのかい
……ゴッドに復讐する前に
死んでしまっても
……
……お前……
……いつか必ず……
俺を助けた事を後悔するぞ


させて見せてくれたまえ！
欄！　君には感謝してるよ
おかげで退屈しのぎができた
バイ！
ヴァヴァヴァ
うっ……
だけど港の夜風はちょっと傷に沁みるなふっ…などと思っている……
懲りない退屈社長なのだった


B1
ゴボッ
ゴボッ
ハーディ・レニアートン……か……
老が最も期待をかけているとおぼしきボーヤだけのことはある
まずはあのボーヤから……というのも
悪くはない
ほほうっ
退屈するくらいなら死んだほうがマシだ…と？
わかりましたっ
今楽にしてあげましょう
ド…ドゥニー
よしたまえっ
ちょっと！目がマジだよっ
「タイクツ社長の極めてうかつな墓穴」／完


「騎士(ナイト)編(ヘン)」


黒薔薇会……！
ザ
ザ
ザシャ
……あれは……
あた
ふた
はは〜っ
見てーな見てーな
里薔薇会ゆーたら
また人数増えたみたいやで
ホンマーッ
ぐんぐん
大きなって
くなー
だってあたし近ごろ
あの集団見ても
あんましョーやって
感じんようになってもて……
むしろカッコエエ
ような気ィさえ
してきてるんよ
あたしも入って
まおかな
えーっ
ちょー
本気なん
部活もほとんど
あの人らーに
つぶされてもて
やる事あらへんし
面白おかしく
おタンビ追求すんのも
悪ないかなーなんて……
あかんてっ
しっかりしーよ
目ェさまし
っ


むっ……
どうしました総統っ
ぬおお〜〜っ 何やあの汚らしいモンは——っ
ザワッ
総統っお気を確かにっ
あれは……
バスケットシューズでは……っ
やはりそうですバスケ部の1年生の名が書いてあります
うげげ〜〜っくっさあ〜〜っ
ゆっ…許さんでっこの私の通り道にあんなようにに醜怪不浄なもんをっ
さっそくその持ち主をひっとらえせっかんするように！
はは〜っ
お許しをっもっ…もう二度と…
ビシ
ええい黙らんかいっ
……入生田籠球部員達を呼ぶんや
ばっ
いっ
だ
ばっ
ばっ
ばっ
はっ！

すべてはお前らの部員教育がなっとらへんからや

お前ら籠球部員一同っ

これからは我々黒薔薇会の下僕んなって働き罪を償うんやっ

主将……

ボロッ

先輩達……

す…すんません俺のせいで……

…板橋…

…ええんや板橋……俺らいつかはこんな日ーが来ると覚悟しとった……

今まで残っとったんが運が良かったんや……

お前のせいとちゃう

あいつ…風祭玉彦が黒薔薇会なんて組織を創立してからというもの学園は何か訳の分からんお眈美軍団に支配されて平凡で善良な俺らには住みにくーなってもた

学園は私の帝国や!!

私の美意識に従わんもんは一切その存在を許されへんのやっ

ええか私は美しいもんしか愛さん!

ブスは即刻学園を去れぇっ!!

お前もや

お前もやっ

え〜っ

私しのどこが〜っ

おまはまいの


あいつらは次々と運動系の部活をとりつぶして……
……俺らバスケ部はよー残ったほうやで……
出てゆけ汗にまみれた野蛮な獣どもっ
何やとォー
何言ーとるんじゃえらそうに出て行くんは おのれやっ
よかろうおろか者っかかってきたまえっ
何〜〜〜っ!!
主将が……っ
あっという間に投げとばされたあ
私は汗の臭いがきらいや!
泥や涙にまみれてはいずりまわる醜い姿を見せるなっ
庭球部はコートを花畑にかえられ
うーん いい香りだ
パチパチ
野球部や剣道部は用具を処分され
抵抗を試みた者もいるにはいるが
ヴァー!!
あぶはぶはぶ
風祭玉彦をはじめ黒薔薇会の幹部連は武力にも秀でており歯がたたない!

被害にあっているのは
生徒達だけではない！

先生！
発音が
ちゃいますよ

生徒に
嘘教える
なんて
許せませんねー
おやめになったほうが
ええでしょ——

あなたの
伴奏は
まるで
騒音ですよ

ピアノは
こう
弾くんです

しかし風祭は
成績優秀
スポーツ万能
おまけに金持ちで
寄付金が多い

……ヘェ……

なるほど……

それで
お二人に……？

そうなの

……で
今度は
どこです？

神戸ですって

神戸？

ヘェ…神戸かあ……
いいなあ……

そこの学園長は
八雲さまと昔からの
お知り合いで
八雲さまからの
紹介らしいわ

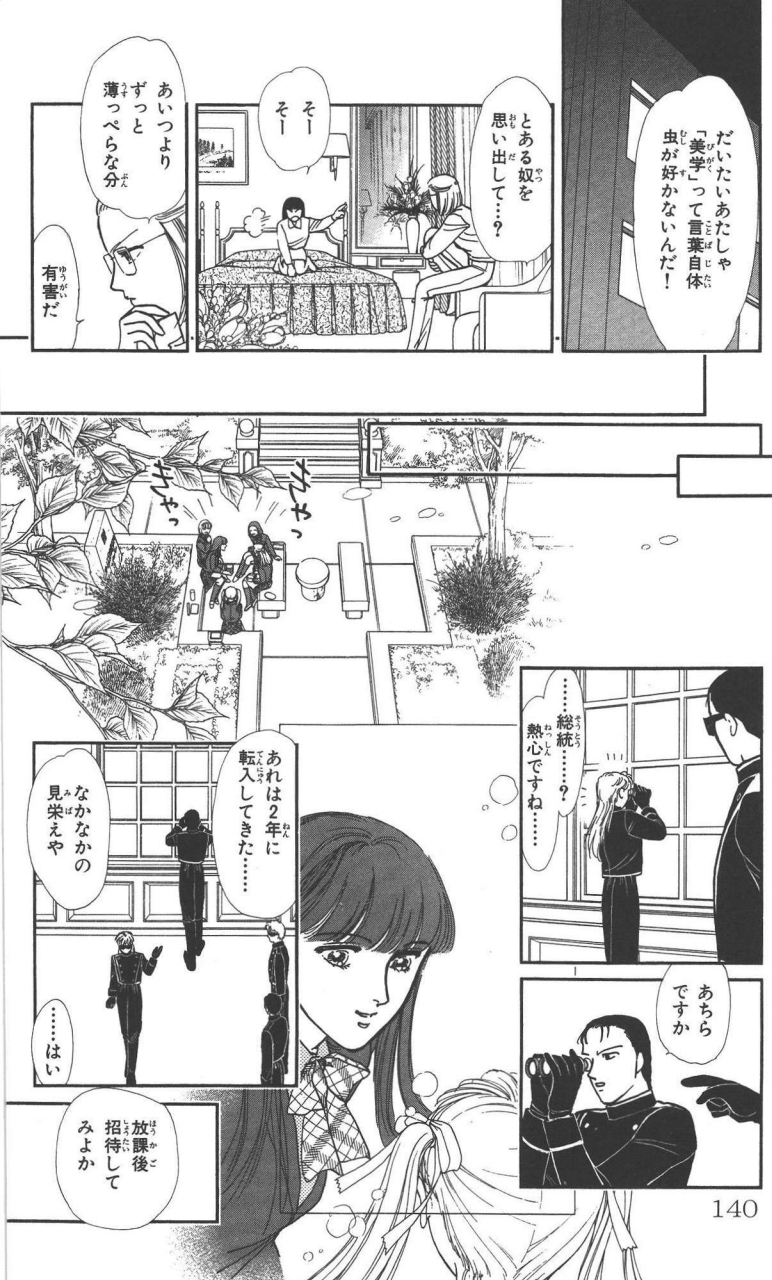

神戸といえば……
だからお二人が神戸に居る間は
八雲さまのカオでホテル滞在ですってすごいわよねえ――♡
聞いてるの雪也さん
雪也さんたら
何ヨダレたらしてるのよっ
ちょっと……
いやあ神戸ってホントきれいなトコだよねえ


ホンマ？
東京の人も
そう思う？
ウン
なんつーか
おしゃれで
清潔で
洗練されてる
カンジじゃないか
そう言ーて
もらえると何か
うれしいわ——
校内は
回ったん？
ああ
ひととおり
おっ
あれ
2年の
転入生や
あそこはインテリばっかでとっつきにくそやど
ヘェ……
悪ないなー
ねえ
生徒会長
さん
ん？
そのうわさの連中……
黒薔薇族だっけ
……黒薔薇会や
そーそーそいつら
のきなみ運動部つぶして
るってハナシだけど
会長さんは
何部なんだい
あ…ぼくは一応
フェンシング……
フェンシング!?
ひゃ——
かっこいい——っ
ねねっ練習見に
行ってもいいかなあ
残念やけど…
今はもう練習
ゆー練習は……


例の連中につぶされて？
……と言ーより
美学かあ……
ぼくは美意識ゼロの人間やからどうも彼らの思想はよー分からへんねん
西日本大会出場の経験まであるのに風祭の美学にすっかり染まってしもて…
フェンシング部の主将入生田は黒薔薇会の最も上層部におる幹部なんや
あれは……
ああ矢島さん転入したてで知らへんかったんやね
風祭さんはよー お天気の日ーは ああやって屋外で音楽を楽しむんよ
でもね…… あっ……ホラ
え？
ほんの少しの弾き損じも許さへんのよ
げし げし
お許しをー
ちょっと ちょっとーっ


ねーねー
矢島さん あと
レモンムース
だけでええん？
うーんもう一個
いっちゃおかなー
少しこれと
替えこと
せえへん？
やーっぱさすがに
神戸のケーキは
おいしいやーっ
そーやろそーやろ——っ
明日はちゃうお店
教えたげる——っ
でもあたし
驚いちゃった
黒薔薇会
とかっての
えー あんなん
まだまだやよ
ねーっ
今日は全然
おとなしかった
ほうやで
GRÜNE WALD
ふだんは
どうなんだい？
あんねえ
ここだけの
ハナシや
ねんけど……
シーッ
やめときよ
悪口言ーとんの
バレたら
ひどい目にあうで
いずれ
わかるわ
ウン
ウン
総統！ この者達
総統の花壇に入り
いくつかの花を
損傷しました
ひいい～～っ
申し訳
ありません
私のお気に入りの
花を傷つけるとは
度胸のあることやな
おっ…お許し下さい
こんなつもりでは……
花の気持ちに
なってもらおか
ザワ
ザワ


総統この者達むほんをたくらんでおりました
ちゃうで俺らはもともと無理やり黒薔薇会に入れられたんやっ
退会を希望しただけやっ
見苦しいね君達
私は見苦しいもんはキライやっ
ビシ
ビシ
うおおおおお
ふうん……
「美」は「道」に勝るっ
風祭総統万歳!!
美は偉大なりっ
ひとつの「美」の前には善悪の判断など全く無意味やっ
おおっ
…あの～～
アホかっ
ちょっと…ある種宗教くささを感じるねえ
いわゆる不良ってのよりタチが悪いこた確かだね


だいたいあたしや「美学」って言葉自体虫が好かないんだ！
とある奴を思い出して…？
そー
そー
あいつより
ずっと
薄っぺらな分
有害だ
ガヤっ
ガヤっ
……総統……？
熱心ですね……
あちらですか
あれは2年に転入してきた……
なかなかの見栄えや
……はい
放課後
招待してみよか


……篠北さん……
ピピピュ
カタリ
主将の目ーがさめて
部に戻ってきたときのために
……そう思たら　休んで
おられへんかって……
練習用の剣
……余ってますか
え？
おつきあい
します……
主将と…
約束したん
や……
ずっと続けて
いつか必ず
全国大会で
勝負しょー
なって
もっとも部ーは
つぶれたも同然
な訳やし
3年生やから
もともと部活に
出る必要は
ないんやけどね
いつもこんなふうに一人っきりで
練習してるんですか？
ああ…まあね……
一日に一度は
剣をさわらんと
落ちつかへんねん…


……で？
何の用だい
こんなとこに
呼びつけて
何やこいつ
態度
悪いで
総統に対してっ
ザワッ
単刀直入に言お
君が気に入った
我が黒薔薇会のマドンナに
したげようとゆー話や
ヘっ
バカらしい！
こいつぁとんだ
大笑い海水浴場てんだ
何やと？
そうそう
美人はそんな口
きくもんやないで
余計なお世話だろ
おやおや
これは
見かけに
よらん人やな
お断り
だねっ
そんじゃ
アバヨ!!
まっ…
待たんか
きさまっ
逃がすなっ


矢島とか言ーたな……
君は外見に似ず
ちょっと品が
ないようや
我々が
磨い
たげるわ
面白い
じゃないか
言っとくけど
江戸の玉は
硬いよおっ
かかれっ!!
ヘヴィ
ヘヴィ
ヘヴィ
ヘヴィ
む?
何!?

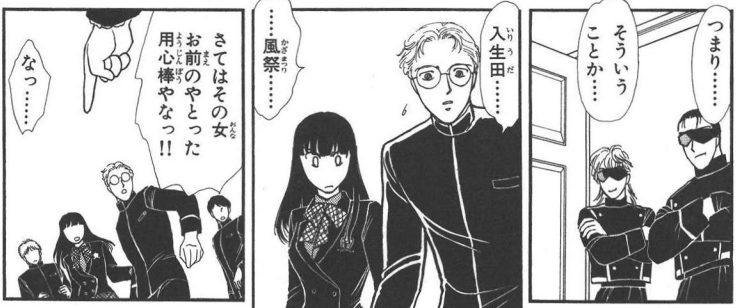

サビネーション
カルト
バレストラ
マルシュ！
クー・ドロワ・アン・マルシャン
シクスト
セプティム
……オクターヴ……
でも意外やったなあ 篠北さんがフェンシングやったことあるなんて
あたしはもともと小さいころから剣道をやってたんですけどね 一時剣道ができなくなって
そん時おせっかいな知り合いが熱心におしえてくれたもんで……
ヘェ…
ありがとう
やっぱり一人きりよりずっと身ーが入るわ


うむ……
うむむ……
あの女……
何者や……
矢島さんっ！
バタ
バタ
バタ


生徒会長
お早うさん


これは……
ちょっと朝っぱらからひと汗かいちまったいちらかしたのは今かたづけるよ
ごめんよ皆騒がせちまって
ザワ
んで会長何の用？
い…いや……
矢島さんて…
ぼくも後かたづけ手伝うわ
おっサンキュ♡
矢島さんて強いんやねえ
あっ矢島さんあたしらも手伝うな
びっくりしてもた


仲がええな
ガタ
ガタ
柿生生徒会長
ずいぶんと親しげや

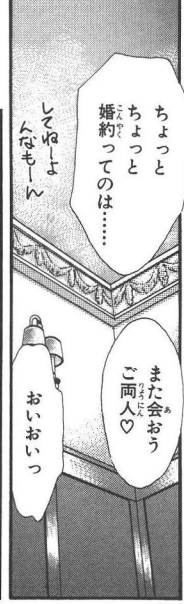

つまり……
そういうことか……
入生田……
……風祭……
さてはその女お前のやとった用心棒やなっ!!
なっ……

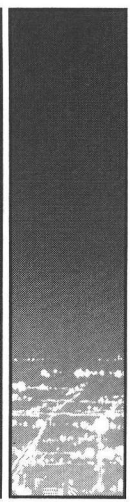

何言ってんだい
生徒会長は
カンケーないよっ
ハハハハ
そのあわてぶりは
図星のようやな
柿生…お前に
そんな気ィがまわるとは
思わんかったで
入生田…
私に挑戦するとは
見上げたもんや柿生!
ええやろ!
受けて立った
ろうやないか
来週までに
頭数をそろえろ
お前の取柄
フェンシングで
決着をつけよ
お前の名誉のため
団体戦にしたる
ええなっ!!
ザワ…
フェンシングで!?
私が負けたら
黒薔薇会は
解散させよう
そやけどお前が負けたら
全校生徒まとめて
私の下僕になるんやっ
えええっ?!


お前がやとった
その女！
腕におぼえは
あるようやが
フェンシングやと
相手になるんかな
ハハハハハ
……
フェンシングで
勝負かあ……
……で…お前さん
頭数に入るのかい
…うん…
うっ……
自信なさそう
だね……あ…
コンコン
誰だろう
どうも♡
こんばんはーっ
雪也！
お二人のことが
心配で心配で
来てしまいました
ウソお言いでないヨ
神戸のチョコレート
ケーキが気になって
気になって…だろっ


さっそくですが夜景をながめながらフルコースはいかがですごちそうしますよ
二人で行っといであたしゃ今夜はどうしてもキーマカレーが食べたいんだ
行かないんですか？
残念だなあ…ごちそうしたかったのにキタさんここんとこインド料理にこってんだよ
ホントー？
雪也今夜は男前だねっ
お席をご用意致しますのでこちらで少々お待ち下さい
何だかあたしわくわくしてきてやったー
ぼくもです
夕食をご一緒できるなんて夢のようです
本当は大阪の知人に会うだけのつもりだったんだが急に神戸で食事したくなってね
入院されてるとうかがいましたがもうお体はよろしいんですか？
この声は……っ
ウッ…


あ……
やっぱり……
……お知り合いですかハーディ様
ちらっ
ハーディ様〜〜〜!?
ああ……久しぶりだねご両人!
すばらしい偶然だ
どうも……こんばんは…
いやあ　せっかくのことだし……どうだい同席しないかい
お断りします!
……
いやあ…あはは……失敬これはぼくが野暮だったなせっかくの婚約者同士の語らいの場にお邪魔しようなんて……
えっ
こっ…婚約う!?
玉彦店をかえよう
はい

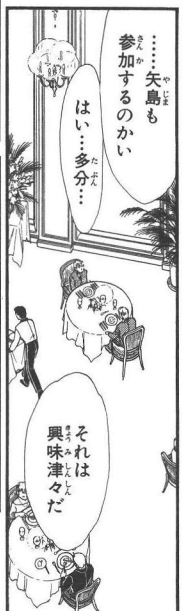

ちょっと
ちょっと
婚約ってのは……
してねーよ
んなもーん
また会おう
ご両人♡
おいおいっ


……
…どうしました
おねえさま……


雪也……
フェンシング
できる?


ええ
どうか?


おしえて
くんないかな――っ♡
かまいませんよ


え……?
フェンシング……?
……矢島も
参加するのかい
はい…多分…
それは
興味津々だ


無論篠北も
……だろ?
篠北?
さあ?


しばらく神戸に
とどまることにしよう
ぜひともその
試合が見たい
ホンマですか?


いやあ……
ときめいてまうなあ
憧れのハーディさまが
ずっと傍におって下さるなんて
むっぐぐぐぐぐ
知っとおー？
生徒会長と
風祭さんのー
もちろん
ワイ
来週の
決闘のことやろ
もう学園中
その話で
もちきりやって
ワイ
生徒会長
負けたら
大変ごとやんなー
ラッサンブレ！
サリュー！
あれ？
あの二人は……
ああ…会長が
頭数をそろえる
ためにいろいろ
あたってね
何とか苦労して
元フェンシング部の
あの二人にお願い
したんだよ
そっかあ……
そんじゃ全くの
初心者で
あたしだけじゃん
プレッシャー
でもさ　キタさんも
経験者だったとは……
ああ…あたしゃ
むしろ剣道より
こっちのほうが
自分の性に合ってる
と思うよ


マルシェ！
なにな
なに――っ!?
構えの姿勢が
ガルド
基本的な前進が
マルシュ
逆に退くのが
ロンプル
跳んで前進が
ボン・ナヴァン
ちょーっ
ちょっと
タンマ
タンマ
シャンゼ・セプティム
ロンペ！
ボン・ナヴァン
ちゃんがんぷる
シャンゼ・アン・マルシャン
ファンデー・ヴー！
えっ!?
てこずってる
ようですね
雪也！
来てくれたんだね
どうも
お邪魔します
その人は…
ああ雪也はあたし達の
弟分でね一応心得が
あるんで呼んだんだ
初めまして
にこっ
は……
あの…失礼ですが
男の子ですよね
ああ……
一瞬 女の子かと
思てもて……
あっお気持ち
わかりますよ よく
まちがわれるんです
ぼくきれいだから
雪也！

おねえさまの場合
今さら名称や用語は
どうでもいいでしょーっ

つまるところ相手に
刺されないうち
刺しゃあいいんです

あと前後運動しか
ないってことと
フルーレの攻撃できる
有効面がここだけってのは
もう聞きましたね？

うんうん

それじゃあ
あとは実戦を重ねて
カンをつかんで下さい

カンカン
カン

いやーっ
横に逃げちゃうん
だよねーっ

……

…何やら他校から
コーチを呼んだようで

コーチ？

それがどうしたんや
我が会には主将の入生田をはじめ
もともとフェンシング部の在籍者が多い
マークが必要なんは柿生一人や

……玉彦…矢島と篠北を
あなどらないほうがいいよ

フンッ

ハーディさま　そんなに私の
実力をお疑いですか

アメリカにいたころ
あなたにご指導
いただいたんですよ
私のフェンシングは

君の実力は承知しているが
そんな敵ならなおさら
ワン・トゥシュを取られても
不名誉じゃないかね

貴い宝石ほど
わずかな傷が
命取りだ


わかりました
あなたがそこまで
おっしゃるんやったら
カタリ
私も練習します
……久しぶりに
相手をしてあげよう
カタリ
えっ？♡
知っとお？矢島さん
風祭さん組のほうも
コーチ頼んだらしいで
コーチ？
なぬ
知っとお？
柿生さん組
コーチの人
頼んだらしいんよ
なぬ
知っとお
知っとお
えっ あれ
コーチなん？
コーチゆーても
子ども
やんか
むちゃきれいな
男の子やんなー
そうやねん！外人よ
金髪のかっこええ
人やったわー


…上さま…
まだお戻り
下さいませぬか
…貴子姫には
それはもう
ご立腹で……
うっ…いやその……
すぐに戻るつもり
ではいたんだ……
しかし……


頼むよ小鉄 貴子姫には お前から何とかうまく 言っておいてくれ
うまく…と 申されましても……
ドヴッ
Excuse me.
(失礼！)
あなたは
Excuse my suddenness, but
(突然申し訳ありませんが、)
Did you see My Load ?
(ご主人さまを見かけませんでしたか？
Tell me all the things about him,
隠さずおしえてください)
please.
I got remember.
(そういえば、大阪の知人が
I heard him tell
どうとかって言っていたような
about his friends
気がしますが)
in Osaka.
I see.
(そうですか、
Thank you !
ありがとう)
Have a good
(よい日を！
day ! Bye !
ごめんください)
えっ
Do you know whether he have
(まだ神戸にいるの
been in Kobe yet
でしょうか？)
?
I don't know ?
(さあ……)
Did he tell you
(どこに行くとか言って
where he would
ませんでしたか？)
go ?
I saw him at the sky
(おとつい、ホテルクラッシックのスカイ
restaurant in Hotel Classic
レストランで見かけましたが……
the day before yesterday…
What's the matter
(どうかしたのですか？)
with him ?
He ran away
(あの人は病院を抜け出したん
from the bed in the
です。放っておくと、どんどん悪化
hospital. He need a rest
して大変なのです)
of cure. Oh, no! His
wound will take a turn
for the worse.


……悪化ってあの剣望さんに思いきり刺された？
ゴゴゴゴ
あの後
雨宮と一戦交えて死にかけたそうですからね……
ハーディが？
そう！
あちらさんのコーチをしているらしい……
まだ神戸にいたのか……
ぼくあの人にウソ言っちゃった……
メン
メン
ミメン


柿生のやつ……
いつの間に
あんなに……
バラ
バラ
あっ
何するんやっ
えっ……？
何や君達はっ
うわっ
ひいっ
やっ
やめっ……


だっ……
誰か……
つかり
つかり
むっ？
うわっ
カッ
ドガッ
ドキッ


あっ
君達！
あなたはっ……
……
これは玉彦の命令かっ!?
い…いいえちがいますっ……
正直に言いたまえ
ちがいますっ……総統じゃありませんっ


バタ
バタ
さあ……
立てるかい
あなたは……
……風祭の……
うっ……
君……
いいえ…大丈夫です
どうもありがとう
ございました
いよいよ今日の
放課後やな——
どうなるんやろ——
柿生さん
がんばってな——

お待たせ致しましたっ

ウワサの対決がいよいよ開幕と相成りました

まずは選手の紹介ですっ

中堅　風祭
副将　鶴巻
大将　入生田

先鋒　座間
次鋒　町田

黒薔薇会組

中堅　矢島
副将　厚木
大将　篠北

先鋒　柿生
次鋒　海老名

対しまして
一般生徒組

あっホラホラ
あの人やわ
風祭さん組の
コーチ

あっちが
柿生さん組の
コーチやな

放送席まで
立っとうで
ハデ好きやな――

これで全校生徒の
運命が決まる
ゆーのにお祭
騒ぎやねんから

本


用意は？
ウィ！
開始！
止め！
やなんて解説されたかて
一般人にはさっぱりやっ
つまり会長が
ワンポイントあげたっ
ちゅーことなんやな
だが次なる相手は
強敵中の強敵風祭総統
総統バッジ
おーっと柿生会長
パラード・カルトからオクターヴへの
リマンを用いてのリポストで
ワン・トゥシュ先取っ
柿生会長
難なく座間と町田を
やぶり去りました
さすが会長
よー色男っ
ワー
ワー
ワー
ワー

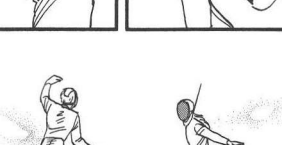
……

……腕…どうかしたんですか？

いや……

何でもないんや…

構え！





腕が痛む

くそっ…

シャ…ン

カカン

フン……

疲れが出たか柿生……！

手に汗にぎる接戦であります

ガンバレ会長

お耽美も時にはええけどぼくらやっぱり下僕はいやですう


手に汗握る接戦やと？
笑わせんなっ
たわむれは
この辺にしとこか
そろそろ
本気を出さんと
苦戦しようと
誤解されるからな


ハア
ハア
ガク
どうしよー
柿生さんが
負けてもた
ウソォー
どひゃー俺ら
どーなってまうんや
……ごめん…
元気出して会長
チームが負けた
訳じゃないよ
カーン
あっ
あっ
うあっ
おお〜〜のお〜〜っ
あっと言う間ーにワン・トゥシュも
取れへんまん次鋒の海老名くん
敗れ去ってしまいました
ガーン
さて中堅の矢島さん
登場っ
矢島さーん
頼むわー
がんばってなー
おっしゃ
恐ろしいことに彼女は
全くの初心者っちゅー話や
そやけど何でもええ
がんばってくれえっ


フン！
元気だけは人一倍やな

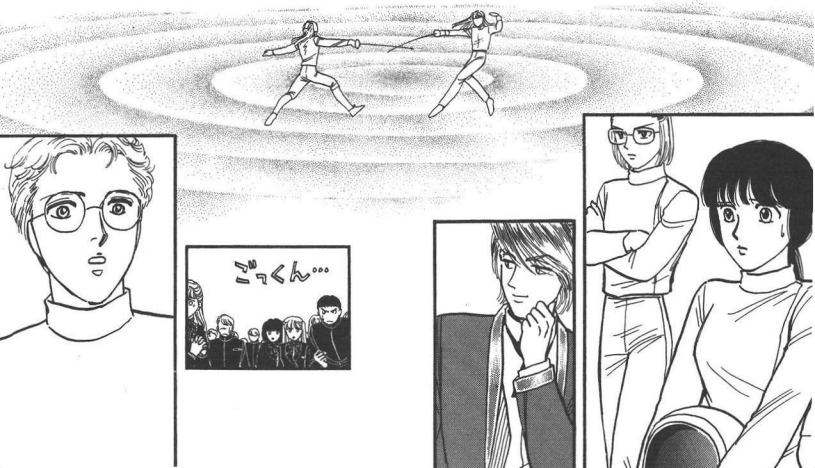

トゥシュ！
だめだ……！
勢いだけで
おしまくるには
相手のレベルが
高すぎる……
あと一本や……
神さま〜〜〜っ
ああ〜〜〜もう
あかん……
既に四本
とられとう
アルト！
お集まりの諸君


フェンシングはもともと決闘という実に格調高い儀式から発展したもんや
騎士道精神にのっとりその技は芸術でなければならない
諸君を私の下僕にするやなんて野暮な約束は忘れたろやないか
矢島……
その昔 ヨーロッパでは生死を賭して闘い勝利した後たった一人の美姫を手ーに入れるんは最高の栄誉とされた
その代わり…あと一本私がトゥシュを決めたら……
君の唇をいただこか！

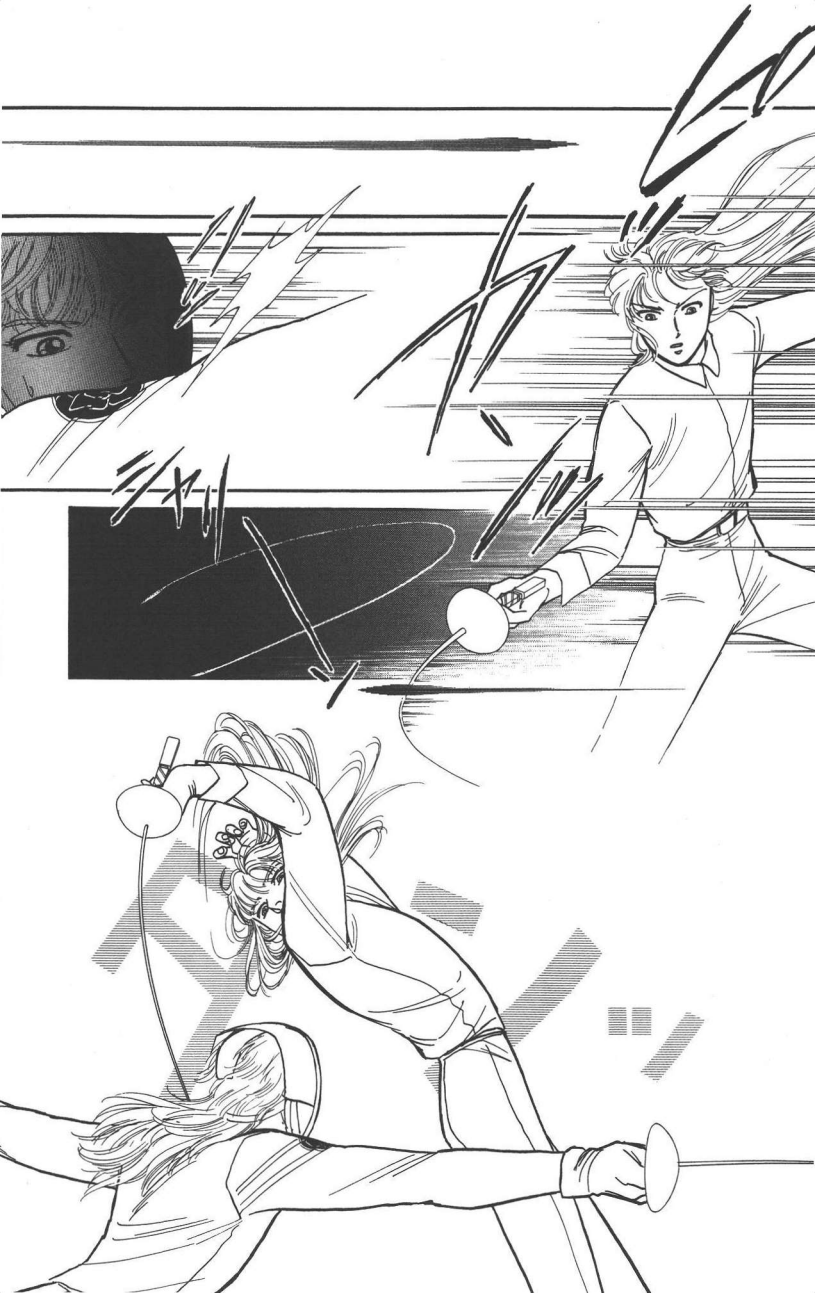

ナニ!!!
あいつ……
……
何考えてんだい
冗談じゃないよ
やなこった!!
ほんなら皆を
私の下僕に
したいんか?
この群衆を
君一人が
救えるんやで
自己犠牲
すべきやないんか
……
君は私の
誇りを傷つけた
ほんのお返しや


そやけど
そこまでや!!
さすがに
がんばっとうな
ホンマに
ホンマに
すんの〜〜〜
ウソォー
公衆の面前でっ
待てっ
あれは
柿生さんチームの
コーチの少年や


雪也……
ぐっ
姫君を手に入れるのは最終勝利者になってからだ
ビシッ
騎士道を語るならば私と手合わせ願おうか
これはどーゆー訳やっ
何かムチャクチャな展開になってまいりましたっ
えーえぞやれやれ
ダボッ無責任な声かけんなっ


ごっくん…


……きれい……
これは……
美しい
何と流麗なフットワークでしょう！
さながら
水面でたわむれる白鳥のようではありませんか
と言ーたら大げさでしょうか
えーさて通常は六分間五本勝負ですがこれは特別三分間一本勝負であります




おおっ
やった！
雪也！
ガーン
負けた……？
この私が……っ!!
うわーん雪也
助かったよーっ
待ちたまえ
子どもの勝負に
親が出て来るようなマネは
卑怯じゃないかね？
そちらがそう来るなら
こちらも親が出よう
えーっ
何ですって？
あなたがっ

そんなこと
できませんっ

できない？

そうですよ
だいたいあなたは
こんな所にいていいんですか
大変なケガ人のくせに

誰からだって
いいでしょうっ
ともかく私は
ケガ人の相手は……

君に遠慮される
ようなケガなどないっ

できません！

ケガ……？

ピク…

……誰にきいた
それを……！

ほほう…それじゃあ
ぼくの不戦勝で
戦利品をいただいても
かまわないと……？

戦利品……？

お前さんの
昼だろ

あたし帰る

お待ち！

今この場で最も
重要な人間なんだよっ

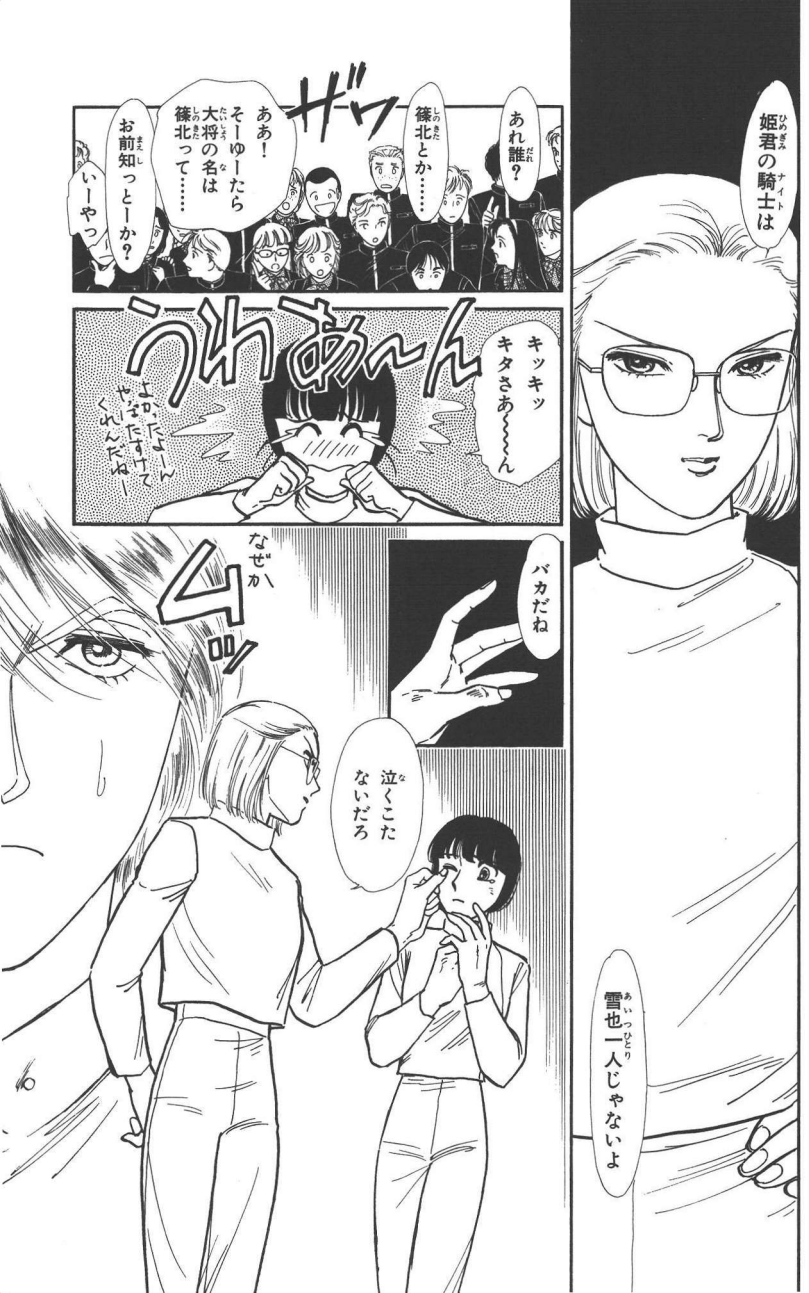

「戦利品」……！
おねえさまを
つかまえて……
「戦利品」とは……
怒ったのかい？
…だったら
相手をしたまえ
君の大切なご婦人の
名誉を守るために！
……だめだ！
……今はだめだ!!
失敬だぞ雪也！
できません
きゃあ
雪也！
審判！
合図を

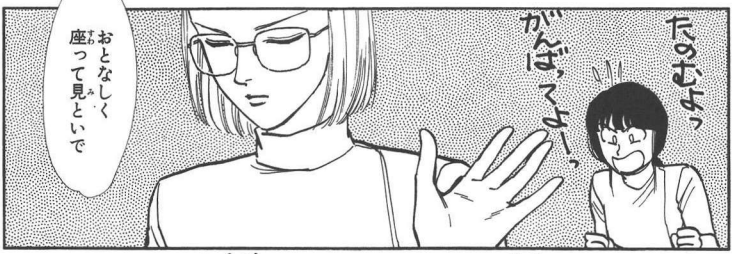

開始(アレ)っ!!
ちょっとおやめよーっ
あんた達(たち)あたしのこと何(なん)だと思(おも)ってんだーいっ!!
あたしの意思(いし)ってもんは……っ
あっ
脇腹(わきばら)は……


ゴクン
シャリーン
ガッカン
だめだ
やっぱり
できない！
やっぱり……
雪也……
君は……っ!!
むかあ…


ハア
ハア
ハア
ハア
……！……
…痛むのですか……？
ちがうっ
……ハーディ…
ぼくの心配をするより君の大切な女性のことを心配したらどうだ！
後悔するがいい！
戦利品はいただくよ
ハーディ！
遠慮なくね！
このぼくに情けをかけて負けた事を!!
ひえぇ～～～
矢島さん
どどどどないしょ～～～
何もあたしがおのうかんでもミミぬんけど
ホンマに――
ホンマに――っ!?


矢島……
そういう事だ！
おねえさま…っ
あ…あの…その…
えっ…
あう
えっ
えろっ
ニヤ
ヘ？
……キタさん……
……女史……
篠北……
ホッ…
邪魔をするのかい


姫君の騎士は
雪也一人じゃないよ
ザワ
あれ誰？
篠北とか……
ああ！
そーゆーたら
大将の名は
篠北って……
お前知っとーか？
いーやっ
うわぁーん
キッキッ
キタさあ～～～ん
よかったよーん
やっとたすけて
くれんだねー
バカだね
なぜか
泣くこたないだろ


たのむよっ
がんばってよーっ
おとなしく
座って見といで


どこからともなく現れた
実は大将やったという篠北さん！
ザワ
ザワ
我々その存在をすっかり見落としとりましたが
一体あのヨユーは何なんでしょー


マスクは付けないのかい
ああ
お前さんだって付けてないからね
構え！
用意は？
Oui!!
(ウィッ!!)




……激しい攻めだ……！
……女史……！
？？？


剣による防御や剣の結び目の移動で
相手の剣を激しく振らせて
シャンジュマン・ダンガジュマン
鋭いフットワークで敵を
前後に追い…誘う
は？…
はやい…
揺さぶりを
かけているんだ
彼の傷の負担を
知っていてわざと…！


ズキ


チャキ
ビュッ
シーッ
すごい
紙一重のダッキングでかわしよった……！
……す……すばらしい……
……入生田…？
ビュッ
大胆で……
鋭利で
……そして……


今や
とれる!!
すっ…
……女史…?
……?
まさか……
あれでは……
まるで
狙いはトゥシュを
奪う事ではなく
彼を苦しめる
事のようじゃないか……!
くっ…
……冷酷や!!
ゴゴゴゴ
おい
入生田!


ナニッ
ひゅん
ざわ
ざわ
ざわ
パチ
パチ
パチ
パチ
パチ
キタさんっ

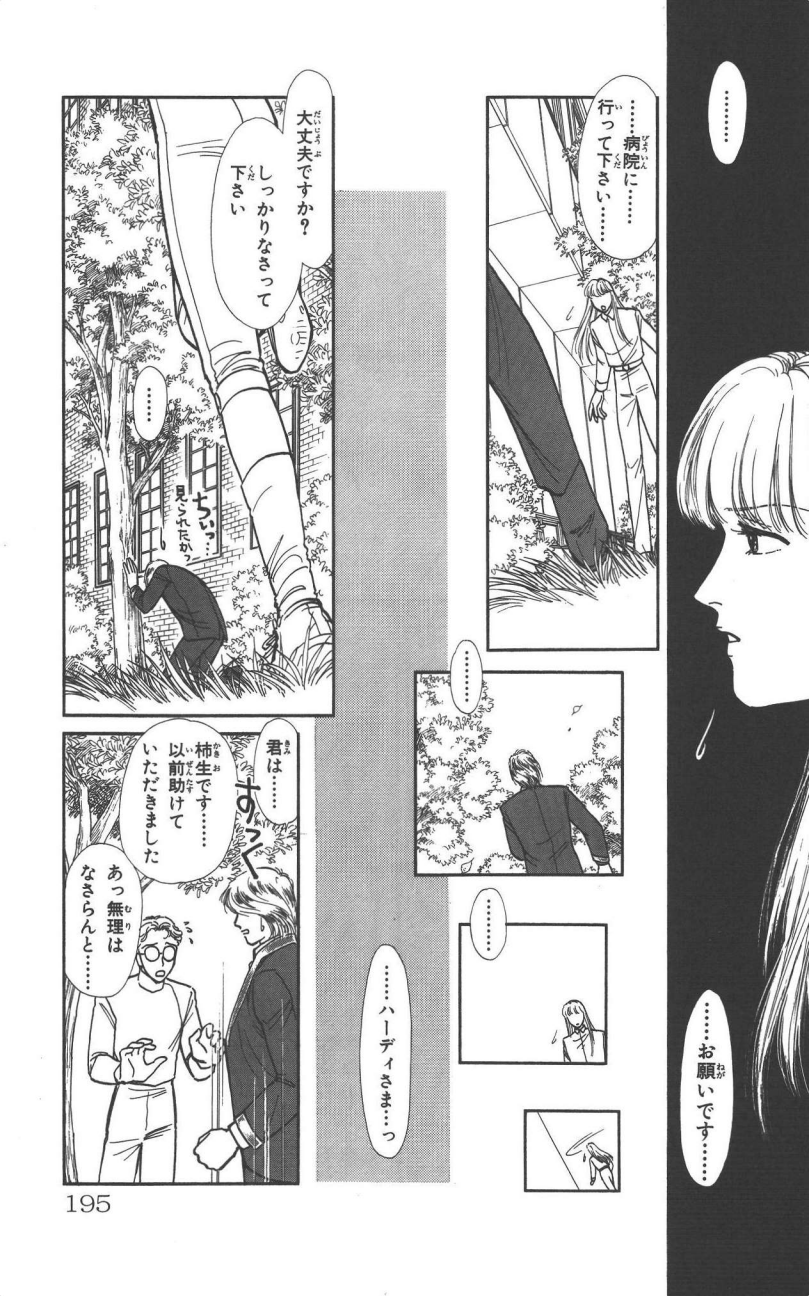

ザワ…
？
そ……
ぶる
総統？
ぶる
パチ
パチ
パチ
ウソやっ
ウソや
ウソや
そんなん
いややーっ
ハーディさまが
負けるなんてっ


……総統…っ
おちついてっ……
剣かせっ
こんなどこの
馬の骨とも知れん
イナカ娘っ
私がバケの皮
はいだるーっ
バシッ
キラッ
あっ
カラン
カラン
よしたまえ
玉彦
……ハ……
見苦しい！

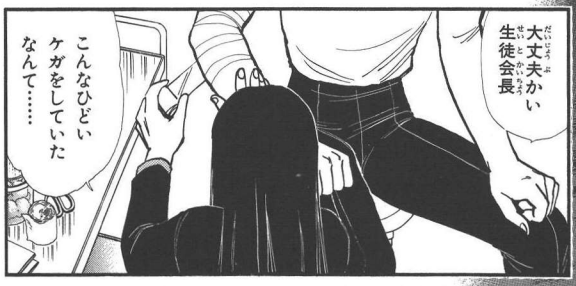

う……
うっ……
ナニッ
うわ～ん
あ
総統っ……
パチ
パチ
パチ
……
……しの…
きみ……
篠北……
……さて……
いつまでも
握ってん
じゃないよっ
どうした篠北
？
？？…
しまった
ナニ？
ブツ
ブツ
じんましん？


生徒会長とやら
そして諸君……
玉彦のわがままにつきあわせてすまなかった
彼に代わって親しい友人の一人として詫びよう
もう悪ふざけはさせまい
神に誓って

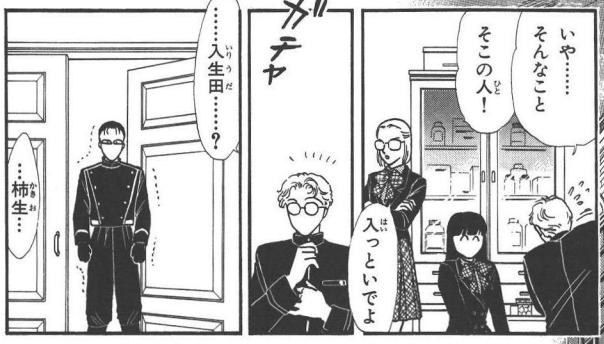

篠北さーくーん
キャー
すごかったやーん
あぶなかったなー矢島さん
どうなるかと思ってもた
キャー
こっち向いてーっ
ヒヤヒヤやったでー
うっうっありがとーみんな
あれ？雪也は……
生徒会長もいない……！
……大丈夫ですか？
手を……
余計なおせっかいはやめてくれたまえ
ぼくはこのとおり一人で歩ける


……
……お願いです……
……病院に……行って下さい……
……
……ハーディさま…っ
……
……
ちいっ…見られたかっ
大丈夫ですか？
しっかりなさって下さい
……
君は……
すっごく
柿生です……以前助けていただきました
あっ無理はなさらんと……


手など貸さなくてもいいっ
……すみません……
…お礼を言わせて下さい……以前のことと…
…今日の…風祭のことも……
礼を言われるスジ合いはないっ
プイッ
うっ
ぐらぁ
あ
ハーディさま……
柿生……
ちょっと頼まれてくれないかい
こ…ここに……
連ら……
ぐらっ
ゴソゴソ
へっ
はい？
ハーディさま？
ズルズル
だーっ
あっ
あのー
ハーディさまーっ


大丈夫かい
生徒会長
こんなひどい
ケガをしていた
なんて……


ケガして
なきゃあ
きっと
風祭に
勝ってたねっ


いや……
そんなこと
そこの人！
入っといでよ
メガチャ
……入生田……？
…柿生…

許してくれ！
このとーりやっ

お前を襲わせたんは俺なんや
俺は……負けるんがこわかった
敗北した姿をさらすんは醜い自分の美学に反するからや
お前は負け慣れてへんからなあ
去年の西日本大会……準決勝で負けてからお前はおかしなった
…美学かあ…
約束おぼえとうか？
約束？
ずっと続けていつか全国大会で勝負しょーなって
柿生…
ポンポン
おいおい
行こか
待って下さいっ!!


?
カポ
お師匠っ!!
と呼ばせて
下さいっ!!!
なっ……
ああっ今でも
思い返しては
コーコツとして
しまいますんやっ
あなたの
あのプレイッ
ぼくの心は
すっかり
魅了されて
もた!!!


ぼくはあなたのよーな
フェンサーになりたいっ
ああ できるんやったら
あなた自身に
なってしまいたいっ
あんたの友達
けっこー
ギリギリだね
……
うっとうしいマネは
おやめっ
帰ろ
やじさん
……
ああ…この
冷酷さが……
すてき…


マルシェ！
ロンペ！
柿生！
バタム
私を
フェンシング部に
入れるんやっ
いや…ぼくは
部長やないし……
ザワ…
……風祭
いつか必ず
あの女を負かして
ハーディさまの
仇討ちをするんやっ


にや
にや
矢島さん
どうしたん
にやにや
して
あれあれ
キャー♡
いやあ今回は
キタさんのおかげで
片づいたんだから
あとでキーマカレー
おごったげよっ♡
やじさん
ゆっくけど
ハーティの
おかげ
なんだよ
誰？
それ
素直な
奴だと思ったのに
ぼくの指示ではなく
病院に連絡するとは～
それに
してもっ
……柿生のやつ――
What a bad treatment
it is !!
（この扱いはなんだ――っ）
I did the most right thing with you.
（このうえなく正しい扱いじゃありませんか）
最初から こーすれば良かった


雪也さん……
…覚悟はできていて？
フッ…
あっ貴子姫…これおみやげのハイジのケーキ
ごまかすんじゃありませんっ
そしていつまでもいたくなっちゃうような神戸を後にして
名鉄観光
神戸眼
お次はどこの空の下
「やじきた学園道中記／騎士編」／完

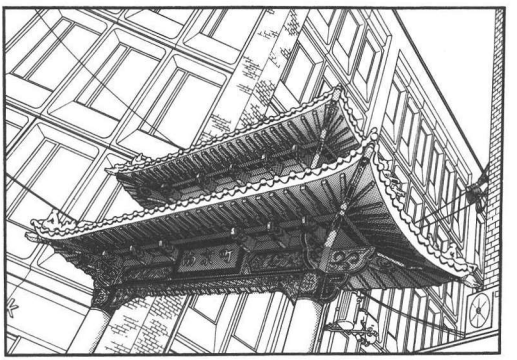
神戸の取材は何だかすごくバタバタしちゃって
ゆっくりとはできませんでした。雨に降られて
港の写真はとれなかったし(港出たかたヨーンそ)
だいたい食い意地の張ってる私が神戸なんて
行っちゃったらモータイヘン!
食事や喫茶のスケジュールだけで行動しちゃって
作品のことなんて考えなくなっちゃう。

神戸のみどころ、てゆうと異人館通りとかポートアイランドとか
あげるべきなのでしょうけど神戸の魅力を一番体験できる
のは街をブラブラしておしゃれな店でおいしいものを食べる
ことなのではないかと思います。

神戸ってシンガポールに似てるなーっと思いました。
文明のちゃんぽん感がなのかな?
複数の文化が入り混じってて
それら特有のノスタルジー性を含んではいるけど
器である街そのものはとても新しくて整然としてる…
みたいなところが…でしょうか。

本町アーケード街の中で私は長い間
探し求めていた理想の酒蒸しまんじゅうと
出会う事が出来た! ありがとう神戸ヤ+

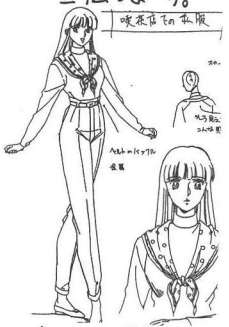
作品中の方言は明石出身のうちの専属アシさんにお願いしました。ありがとおアーサー!
又取材の折には彼女のお父さんにおいしい店をおしえて頂きました。ありがとうございました。



OAV（オーエーブイ）から こんにちは

えー…もうご存知の方もいらっしゃるでしょうけど「やじきた」のビデオオ2弾が出ますので宣伝します。

だいぶ宣伝しくないけどぐぅ





えーとまずオ1回目の「幻の皇一族」
何しろこの話のときに私は初めてアニメというものに関わった訳なもんですから何に関しても ちんぷんかんぷんでした。
原案を出してくれと言われましても「40分なんですけど」「はあ…それってマンガのページに直すとどのくらいなんでしょうか」…でな訳でゴリゴリに頼りにならない!!このワタクシ!
「今は漫画家さんも皆さんえらくアニメにくわしいですから」などとおっしゃられても 観る立場でくわしいのと創る立場でくわしいのとでは天と地ほどちがいますし観る立場の中でも私はくわしい方じゃないんでヨヨぐすホホ
いやあスタッフの皆々様にはご苦労かけました。

設定資料のコピー♡

詰はほとんど監督 山崎さんの趣味に合わせて創って頂きましたようなカンジです。最初はもっとキテレツと私の方から原案らしい原案を出さなきゃいけなかったのですけども「40分」という得体の知れない制限にイシュクしてしまい何の役にも立てませんでした。山崎さんと私では押さえる「気障」のポイントが全然ちがうので新鮮です!自分のキャラなのに自分とちがった方面の気障で演出されてたもんだから いやあ もう見ていて テレくさいの何の。面白かったです。山崎さん 本当にどうも ありがとう♡

絵に関しては とーっても似ているので ビックリしました。もっとアニメっぽくアレンジされて私の絵から離れると思っていたので…だって私の絵って安定してないし似させるのムズカシイと思っていたんですヨ。とにかく「ひゃー あたしの絵が動いている-!」と感じた箇所が沢山ありました。キャラデザイン・作画監督の山沢さんがすごく気を使って下さったのですね。正直私は別に自分の絵に執着強くないんで もっと全然ちがっていても気にしなかったんですが。でも 山沢さんのその心使いがうれしいじゃありませんか。一度しかお会いしてませんがラルイ人です山沢さん。くす。二本目も山沢さんでうれしいです。ありがとうございました♡

三壁鋒〈小技の武器〉



三壁鋒を使うシーンが あって おどろいてしまいました

そーそー ビデオの感想は私こと市東に送っていただいても ゆりと無意味であります。
ハガキで編集部あてなんかだと とっても参考になっていいかも知れませんねぴ

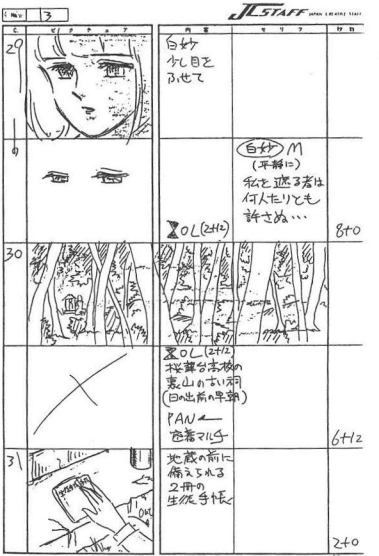
脚本の渡辺さんには いつもホントに
生はんかでない ご苦労をさせちゃって
いるのです。何せ原作者が頼りに
ならないもんだから…。けっこう最初には
弱音吐いたりしてらしたけど 結局キチンと
キメて下さる。…プロだなあ。私自身が
フリだけで描いてるようなハナシだから
ちゃんと脚本にあこしてる渡辺さんは天才です。
特に「牡丹慕情」の時のあの手並はおおかた
たのですね。どんな風に仕上がるのかが
今から楽しみです。

オス弾「牡丹慕情」

原作の中の「必殺編」をベースにしています。
時間の関係で「必殺編」そのものではありません。
コンテを見る限りでは あのタンビですね。
それもさり気ない通好みのあのタンビではないかと
私はにらんでいます。オス弾の監督は松本さん。
まだ完成品を観ていませんが 楽しみです。
松本さんはあのハダがきれいでうらやましいです。

関わった全ての方々にこの場を借りてお礼を伝えたいと思います。

ありがとうございました。



牡丹慕情の絵コテの一ページ 絵コテっておもしろいですね



アニメって本当に沢山の人達の汗の結晶ですね。各分野の責任者がいて総合責任者がいて…。
伝達作業もとても タイヘン。ああ漫画描くのって楽な仕事ではないか!と私は思いました。
そして こんな楽な仕事をヒーヒーゆってる私ってとんだ ごくつぶしかも知んないとも思った…b

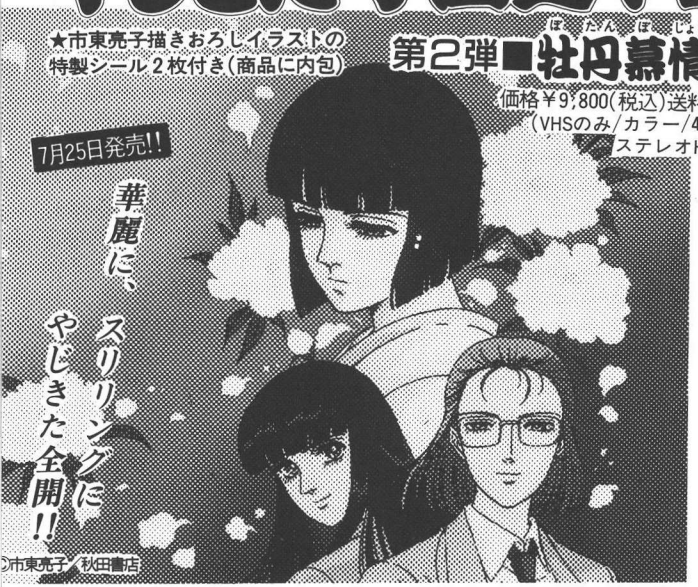
オリジナル・アニメーション・ビデオ

やじきた学園道中記

★市東亮子描きおろしイラストの
特製シール2枚付き（商品に内包）

第2弾■牡丹慕情編

価格￥9,800（税込）送料無料
（VHSのみ／カラー／40分／
ステレオHi-Fi）



第1弾■幻の皇一族編

大好評発売中

★市東亮子描きおろしイラストのオリジナル
テレホンカード付き（商品に内包）
（ＶＨＳのみ／カラー／40分／ステレオ Hi-Fi）
価格￥10,800（税込）送料無料

●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●

※通信販売のお申し込み方法

●このコミックスに差し込んである「秋田ビデオシリーズ」のリーフレットのハガキに必要事項をご記入の上、お申し込みください。
●官製ハガキを使用してお申し込みの場合は、左図のようにご記入ください（18歳未満の方は保護者の署名・捺印が必要です）。
●一度申し込んだ方は追加注文以外は重ねて申し込まないでください。
●代金は商品到着時に、商品と引き換えにお支払いください。
●商品に不良箇所がある場合以外の返品はご容赦ください。万一、不良品の場合は新品と交換させていただきます。
●商品はＶＨＳのみの販売です。ご注意ください。
●お問い合わせは、秋田書店ボニータ編集部まで。
☎03-3265-7369

▶ハガキのかきかた

〈おもて〉

41 102-□□
東京都千代田区飯田橋
2の10の8
秋田書店
ボニータ編集部
「やじきた学園道中記
ビデオ係

〈うら〉

●「やじきた学園道中記」
ビデオ購入希望
●本数
（幻の皇一族編　本
牡丹慕情編　本）
●住所
●氏名
●年齢
●電話番号
●保護者の署名・捺印

一頁劇場

マッチ売りの少女

少女…貴多神真吾(10才前後)
おじさん…萩間剛









「やじきた学園道中記」㉑巻／完

やじきた学園道中記・シリーズ
ISBN4-253-91004-1



BONITA COMICS

やじきた学園道中記㉑

平成３年８月20日　初版発行

著　者　市東亮子
©R.Shito　1991
発行者　秋田貞美
発行所　株式会社　秋田書店
（〒102）東京都千代田区飯田橋 2-10-8
☎編集(03)3265-7369 販売(03)3264-7248
製作(03)3265-7373
振替口座　東京３－99353番
印刷所　三報社印刷株式会社　Printed in Japan

検印
省略

もし、落丁・乱丁がありましたら、お取り替えいたします。

ISBN4-253-09192-X

（禁／無断転載・放映・放送・複写）

BONITA COMICS

ボニータコミックス

秋田書店



ISBN4-253-09192-X C0279 P390E
雑誌 40512—46　秋田書店　定価390円(本体379円)